4　サスペンション　&　アクスル

変更概要 ……4－2
フロント　アクスル　ハブ ……4－2
準備品 ……4－2
脱着分解構成図……4－4
ボルト交換（ＥＳＣ付き）……4－5
取りはずし……4－5
分解……4－5
ボルト交換……4－6
組み付け……4－7
取り付け……4－8
リヤ　アクスル　ハブ ……4－9
準備品 ……4－9
脱着分解構成図……4－10
ボルト交換（ＥＳＣ付き）……4－11
取りはずし……4－11
ボルト交換……4－11
取り付け……4－11
ＴＥＭＳ……4－12
準備品 ……4－12
部品配置図 ……4－12
回路図 ……4－13
機能点検 ……4－14
減衰力制御状態表示点検……4－14
制御機能点検……4－14
トラブル　シユーテイング……4－17
トラブル　シユーテイング……4－17
単体点検……4－27

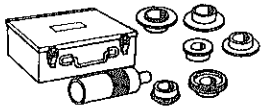
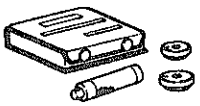
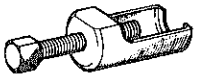
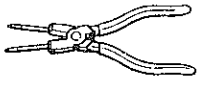
無断複製禁止

サ技報

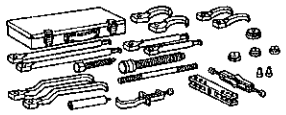
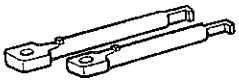
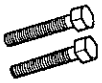
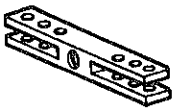
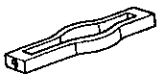
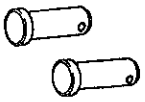
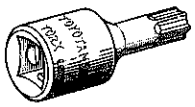
変更概要

トヨタ セリカ修理書（品番６２２７７，昭和60年８月発行および品番６２２８８，昭和61年10月発行）の内容に以下の項目を追加します。
1 フロント アクスル ハブの修理要領
2 リヤ アクスル ハブの修理要領
3 ＴＥＭＳの点検要領

フロント アクスル ハブ
準 備 品

SST		09308-00010	プラー，オイル シール	オイル シール（インナおよびアウタ側）取りはずし用
		09316-60010	リプレーサ，トランスミッション アンド トランスファ ベアリング	
		09316-00010	リプレーサ パイプ	ダスト デフレクタ取り付け用
		09316-00040	リプレーサ C	
		09608-30022	リプレーサ セット，フロント ハブ ベアリング	
		09550-00050	リプレーサ	フロント アクスル ハブ取り付け用
		09608-05010	ハンドル	フロント アクスル ハブ取り付け用 オイル シール取り付け用
		09608-32010	リプレーサ，ステアリング ナックル オイル シール	オイル シール打ち込み用 ベアリング取り付け用
		09610-20012	プラー，ピットマン アーム	ボール ジョイント取りはずし用 タイ ロッド エンド切り離し用
		09628-10011	プラー，ボール ジョイント	ハブ ボルト取りはずし用
		09905-00013	プライヤ，スナップ リング	ホール スナップ リング脱着用

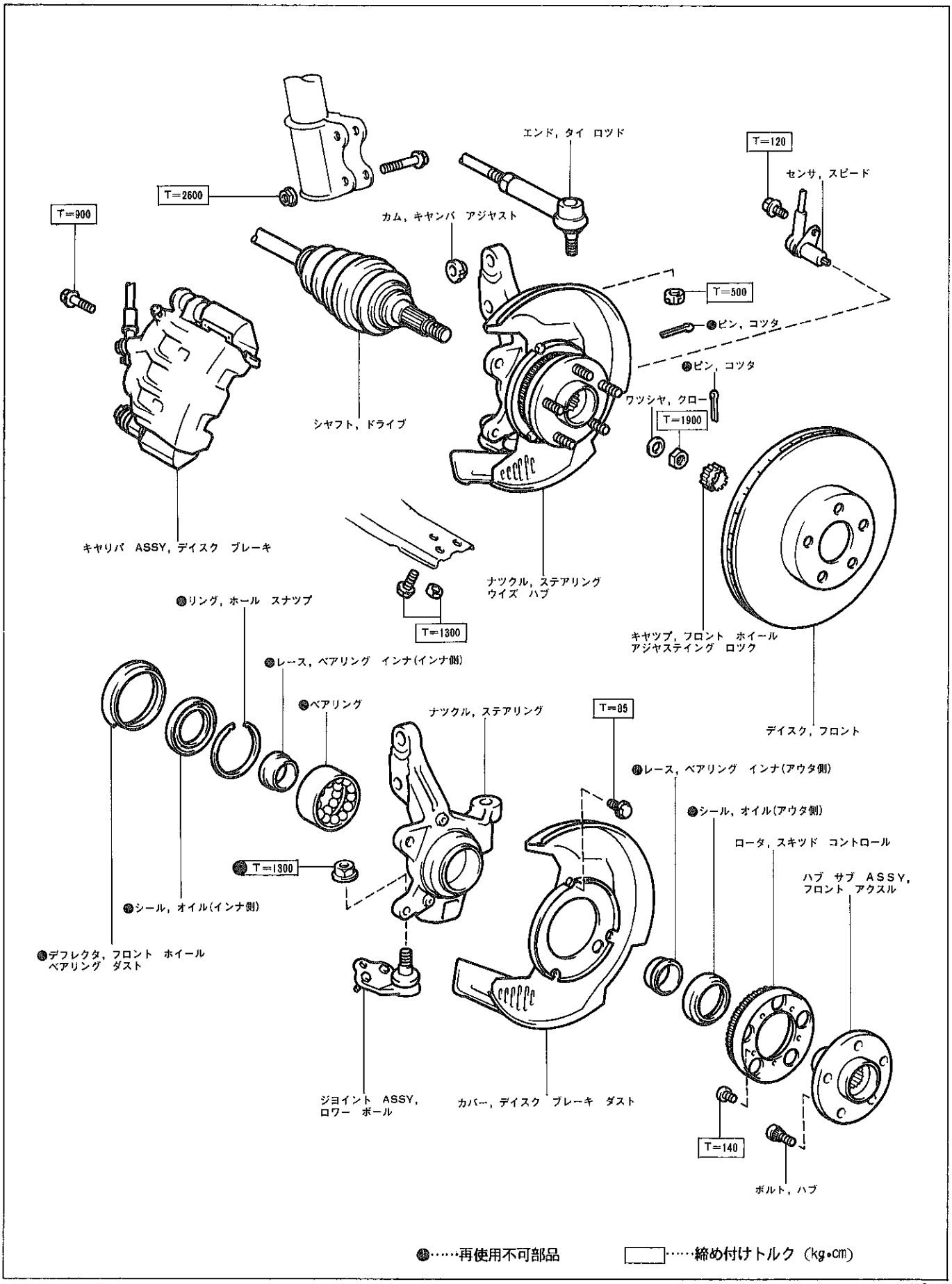
無断複製禁止

SST		09950-20017 プラー，ユニバーサル	
		09952-20010 スクリユ	アクスル ハブ取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09953-20010 クロウ，B	インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09953-35011 クロウ，D	アクスル ハブ取りはずし用
		09954-20011 スクリユ アジヤスト	インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09955-20012 プロパ	アクスル ハブ取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09956-20011 ピース，タイテイング	インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09957-20010 ピン	アクスル ハブ取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09958-20010 デイスク E，アタツチング	アクスル ハブ取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09959-20010 ハンドル	アクスル ハブ取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09964-35010 アダプタ	アクスル ハブ取りはずし用
工具		09042-00010 レンチ，トルクス ソケツト（T30）	スキツド コントロール ロータ脱着用
	ソケツト レンチ（30mm）		フロント アクスル ハブ脱着用
計器	トルク レンチ（500～2800kg•cm）		各部締め付け用
	ダイヤル ゲージ		アクスル ハブ振れ点検用
油脂その他	キヤツスル MP グリース No.2		各部塗布用

4

無断複製禁止

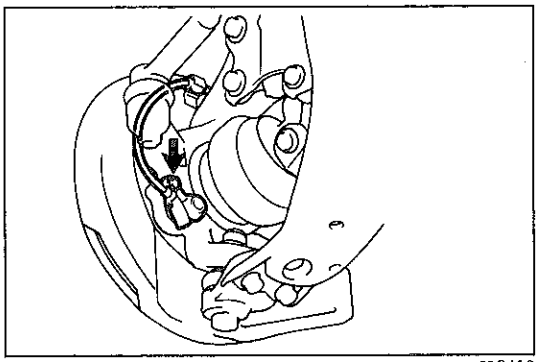
脱着分解構成図



●……再使用不可部品　　□……締め付けトルク (kg•cm)

K2418

無断複製禁止


K2419

ハブ　ボルト交換（ＥＳＣ付き）

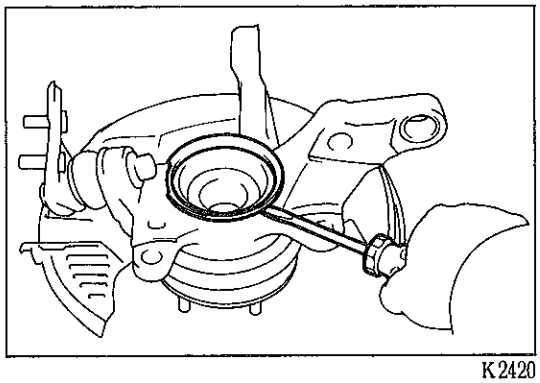
ステアリング　ナツクル　ウイズ　アクスル　ハブ取りはずし

1　ステアリング　ナツクル　ウイズ　アクスル　ハブ取りはずし

(1) ステアリング　ナツクルからボルトをはずして，スピード　センサを切り離す。

(2) W／Hをクランプから切り離す。

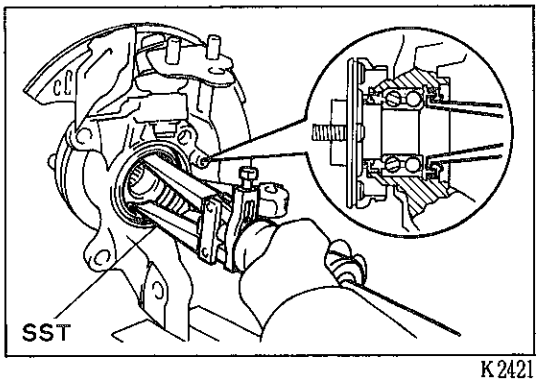
(3) ステアリング　ナツクル　ウイズ　アクスル　ハブを取りはずす。


K2420

アクスル　ハブ分解

1　ダスト　デフレクタ取りはずし

(1) ダスト　デフレクタを取りはずす。

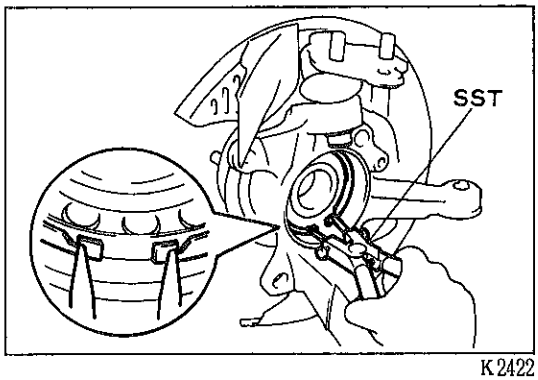


K2421

2　オイル　シール（インナ側）取りはずし

(1) オイル　シールをステアリング　ナツクルから取りはずす。

ＳＳＴ　09308-00010

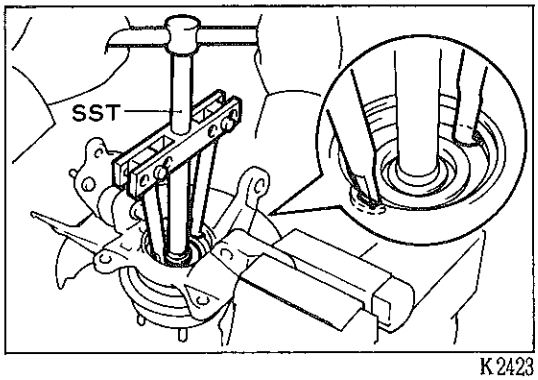


K2422

3　ホール　スナツプ　リング取りはずし

(1) ホール　スナツプ　リングを取りはずす。

ＳＳＴ　09905-00013



K2423

4　アクスル　ハブ取りはずし

(1) アクスル　ハブをステアリング　ナツクルから取りはずす。

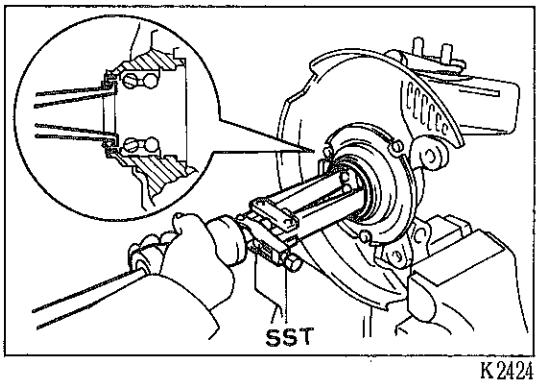
ＳＳＴ　09952-20010　09953-35011　09955-20012
09957-20010　09958-20010　09959-20010
09964-35010

注意　ＳＳＴのツメはステアリング　ナツクル溝の最も深い部分にかける。

(2) ベアリング　インナ　レース（インナ側）をベアリングから取りはずす。

4

無断複製禁止

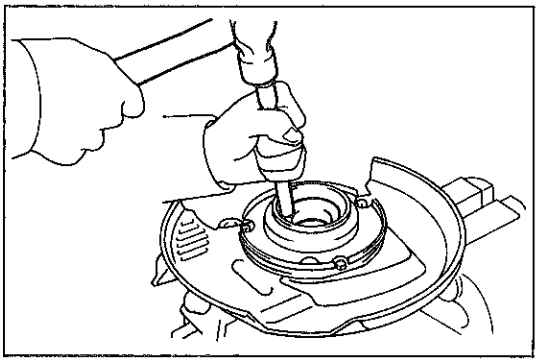


K2424

5　オイル　シール（アウタ側）取りはずし

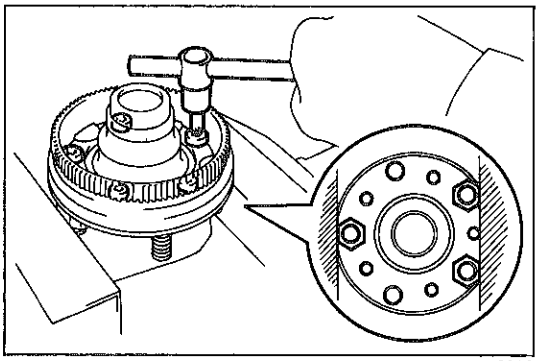
(1) オイル　シールをステアリング　ナツクルから取りはずす。

SST　09308-00010


K2425

6　ベアリング取りはずし

(1) 先にはずしたインナ　レースをベアリングのアウタ側に取り付け，インナ　レースをたたいて取りはずす。


K0910

ハブ　ボルト交換

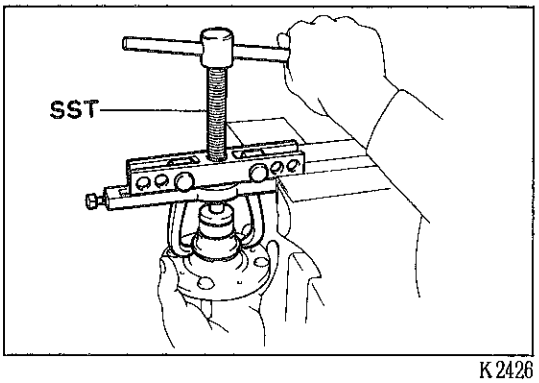
1　スキツド　コントロール　ロータ取りはずし

(1) ナツト３個を図の位置のフランジ付近に取り付けて，バイスに固定する。

注意　バイスは強く締め付けない。

(2) トルクス　ソケツト　レンチ（T30）を使用して，スキツド　コントロール　ロータを取りはずす。

注意　スキツド　コントロール　ロータを傷つけない。

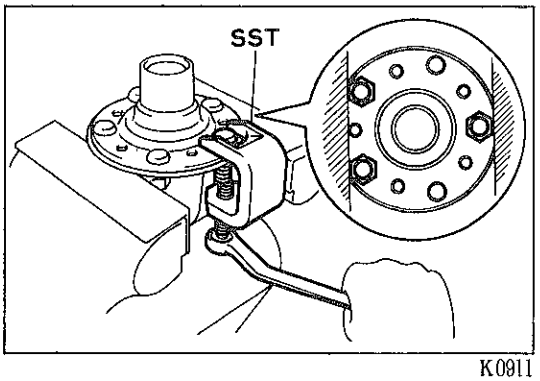


K2426

2　ベアリング　インナ　レース（アウタ側）取りはずし

(1) ベアリング　インナ　レース（アウタ側）をアクスル　ハブから取りはずす。

SST　09952-20010　09953-20010　09954-20011
09955-20012　09956-20011　09957-20010
09958-20010　09959-20010



K0911

3　ハブ　ボルト交換

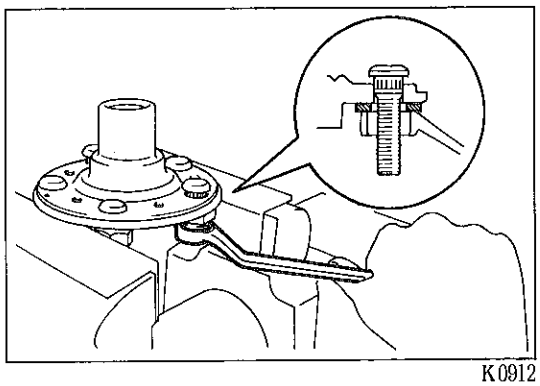
(1) ナツト３個を図の位置のフランジ付近に取り付けて，バイスに固定する。

注意　バイスは強く締め付けない。

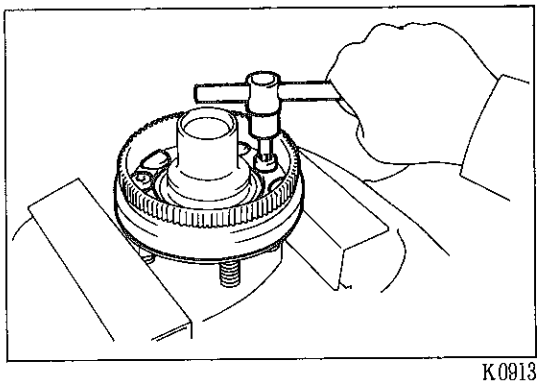
(2) ハブ　ボルトを取りはずす。

SST　09628-10011

無断複製禁止


K0912

(3) 新品のハブ ボルトをアクスル ハブに組み付け，プレート ワッシャを通し，ナットを締め付けながらハブ ボルトを取り付ける。


K0913

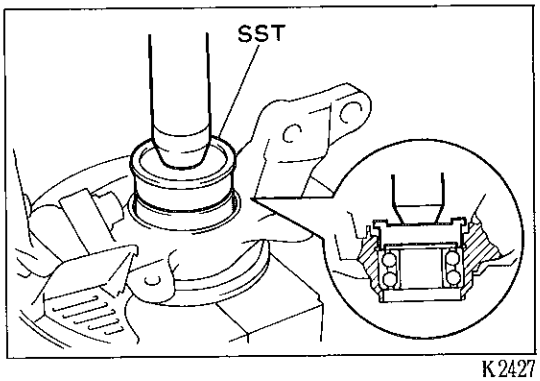
アクスル ハブ組み付け

1 スキッド コントロール ロータ取り付け

(1) トルクス ソケット レンチ（T30）を使用して，スキッド コントロール ロータを取り付ける。

T=140kg•cm

注意 スキッド コントロール ロータを傷つけない。



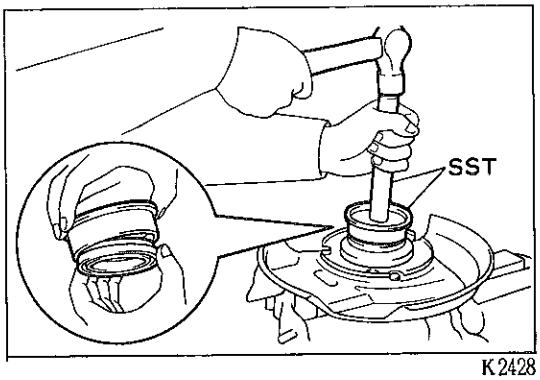
K2427

2 ベアリング取り付け

(1) 新品のベアリングをステアリング ナックルに圧入する。

SST 09608-32010

注意 ボールおよびインナ レースを分離した場合は，必ず組み付いていた側に組み付ける。



K2428

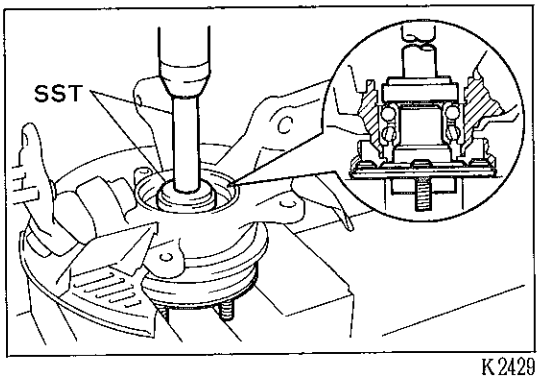
3 オイル シール（アウタ側）取り付け

(1) 新品のオイル シールを回しながらサイド リップ部をＳＳＴの溝の中に入れる。

SST 09608-32010

(2) ＳＳＴがステアリング ナックル端面に当たるまで打ち込む。

SST 09608-05010 09608-32010



K2429

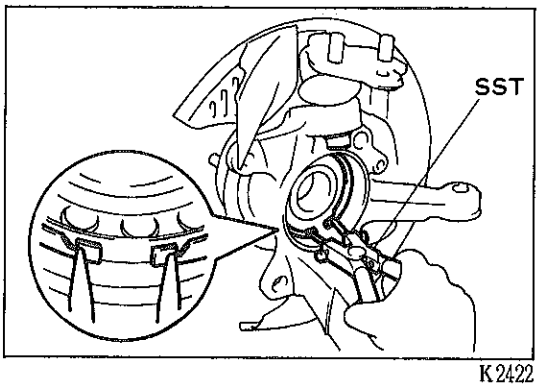
4 アクスル ハブ取り付け

(1) オイル シールのリップ部にキャッスル ＭＰ グリース №2を塗布する。

(2) ステアリング ナックルにハブを圧入する。

SST 09550-00050 09608-05010

無断複製禁止

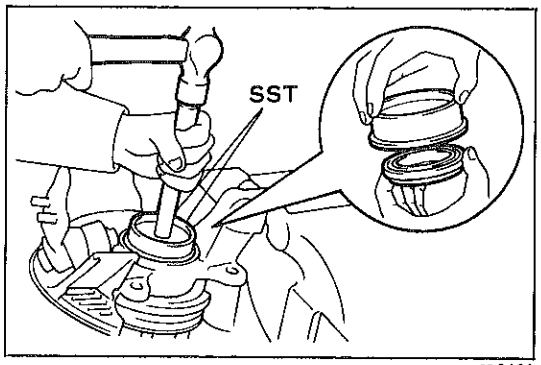


K2422

5 ホール スナップ リング取り付け

(1) 新品のホール スナップ リングをステアリング ナックルに取り付ける。

SST 09905-00013



K2430

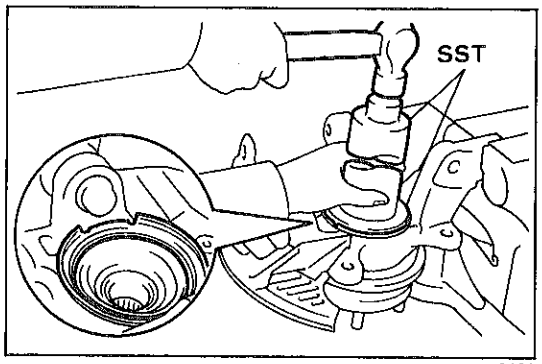
6 オイル シール（アウタ側）取り付け

(1) 新品のオイル シールのサイド リップ部をＳＳＴの溝の中に入れる。

SST 09608-32010

(2) ＳＳＴがステアリング ナックル端面に当たるまで打ち込む。

SST 09608-05010 09608-32010

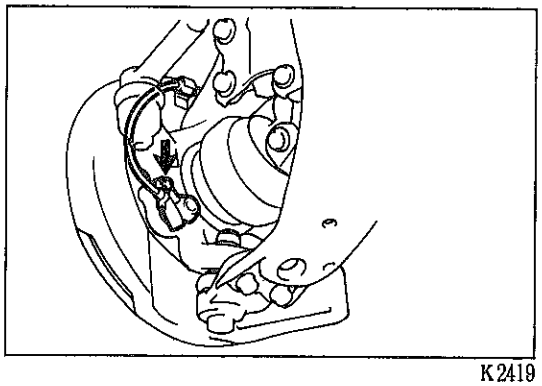


K2431

7 ダスト デフレクタ取り付け

(1) 新品のダスト デフレクタをステアリング ナックルに取り付ける。

SST 09316-00010 09316-00040


K2419

ステアリング ナックル ウイズ アクスル ハブ取り付け

1 ステアリング ナックル ウイズ アクスル ハブ取り付け

(1) ステアリング ナックル ウイズ アクスル ハブを取り付ける。

(2) ステアリング ナックルにボルトでスピード センサを取り付ける。

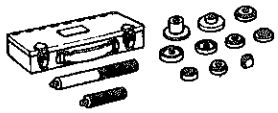
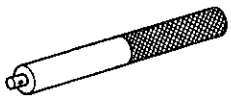
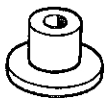
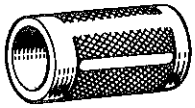
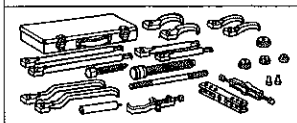
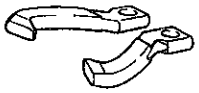
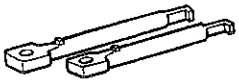
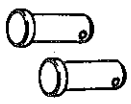
T＝120kg•cm

(3) W／Hをクランプする。

注意 スキッド コントロール ロータの傷つきがないことを確認する。

無断複製禁止

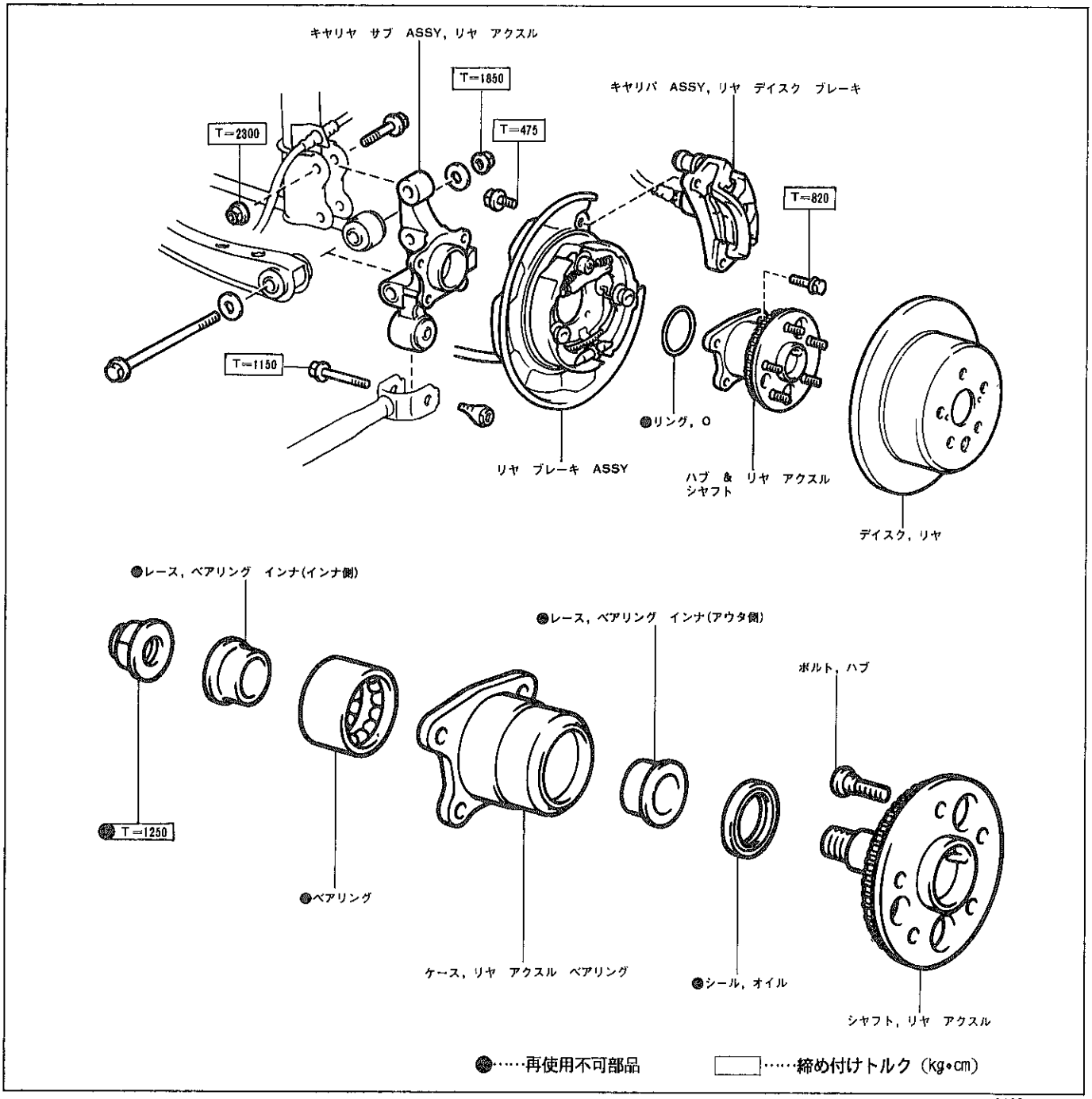
リヤ アクスル ハブ
準 備 品

SST		09550-10012 リプレーサ セツト，“B”	
		09552-10010 ハンドル No.2，リプレーサ	ベアリング アウタ レース脱着用
		09554-10010 リプレーサ，デイフアレンシヤル ドライブ ピニオン オイル シール	ベアリング アウタ レース取り付け用 オイル シール取り付け用
		09558-10010 リプレーサ，リヤ アクスル シヤフト オイル シール	ベアリング アウタ レース取りはずし用
		09636-20010 リプレーサ，アツパ ボール ジヨイント ダスト カバー	リヤ アクスル シヤフト取り付け用
		09950-20017 プラー，ユニバーサル	
		09952-20010 スクリユ	アクスル シヤフト取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09953-55010 クロウ，A	アクスル シヤフト取りはずし用
		09953-35011 クロウ，D	インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09954-20011 スクリユ，アジヤスト	アクスル シヤフト取りはずし用 インナ レース（アウタ側）取りはずし用
		09955-20012 プロパ	
		09956-20011 ピース，タイテイング	
		09957-20010 ピン	

無断複製禁止

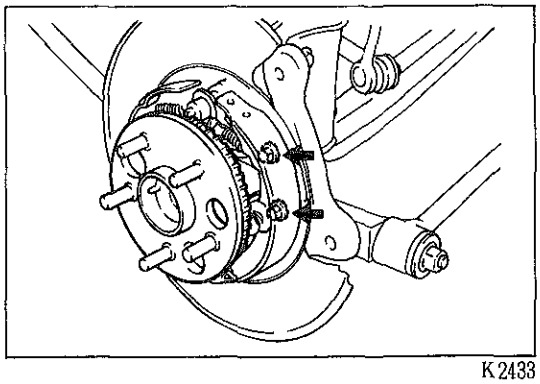
SST	 09959-20010　ハンドル	アクスル　シャフト取りはずし用 インナ　レース（アウタ側）取りはずし用
工　具	ソケット　レンチ（27mm）	リヤ　アクスル　ハブ　セット　ナット分解，組み付け用
計　器	ダイヤル　ゲージ	ベアリングのガタ点検用
	トルク　レンチ（500～2800kg•cm）	キャリヤ締め付け用 リヤ　アクスル　ハブ　セット　ナット締め付け用
油　脂 その他	キャッスル　MP　グリース　No.2	各部塗布用

脱着分解構成図



K2432　K0918

無断複製禁止


K2433

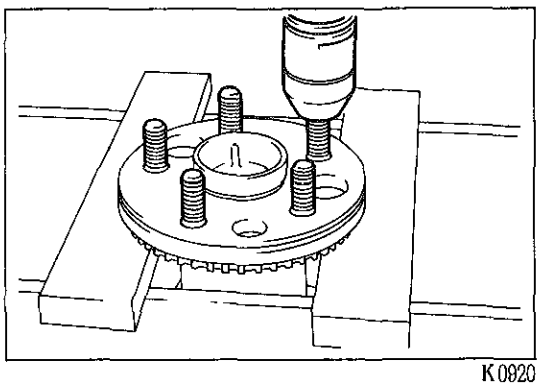
ハブ　ボルト交換（ＥＳＣ付き）

リヤ　アクスル　ハブ取りはずし

1　リヤ　アクスル　ハブ取りはずし

(1) アクスル　シヤフトのサービス　ホールからアクスル　ハブ締め付けボルト４本をはずし，リヤ　アクスル　ハブを取りはずす。

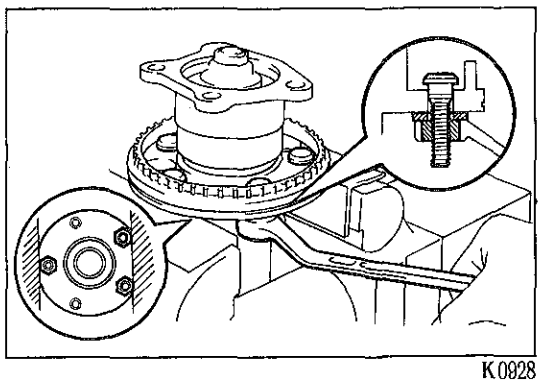
注意　アクスル　ハブを取りはずす時，スキツド　コントロール　ロータをスピード　センサに当てない。


K0920

ハブ　ボルト交換

1　ハブ　ボルト取りはずし

(1) スキツド　コントロール　ロータ全体で荷重を受けるようにプレスを使用して，ハブ　ボルトを取りはずす。

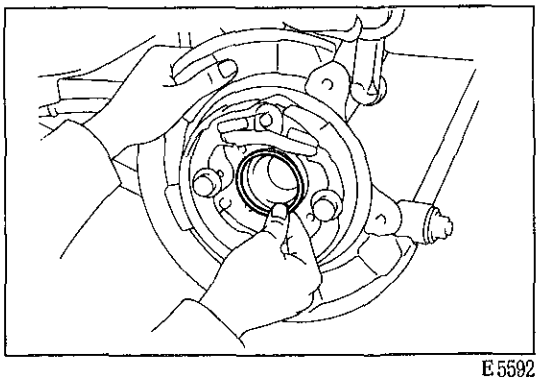

K0928

2　ハブ　ボルト取り付け

(1) ナツト３個を図の位置のフランジ付近に取り付けて，バイスに固定する。

注意　バイスは強く締め付けない。

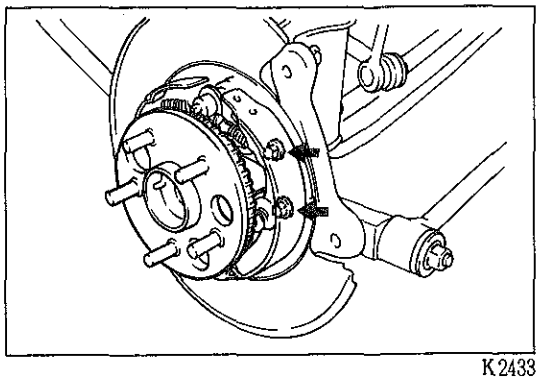
(2) 新品のハブ　ボルトをリヤ　アクスル　シヤフトに組み付け，プレート　ワツシヤを通し，ナツトを締め付けながら，ハブ　ボルトを取り付ける。


E5592

リヤ　アクスル　ハブ取り付け

1　リヤ　アクスル　ハブ取り付け

(1) 新品のＯ　リングにキヤツスル　ＭＰ　グリース　№2を塗布し，リヤ　アクスル　キヤリヤに取り付ける。


K2433

(2) リヤ　アクスル　シヤフトのサービス　ホールからアクスル　ハブをボルト４本で締め付ける。

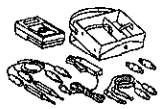
T＝820kg・cm

注意　スキツド　コントロール　ロータをスピード　センサに当てない。

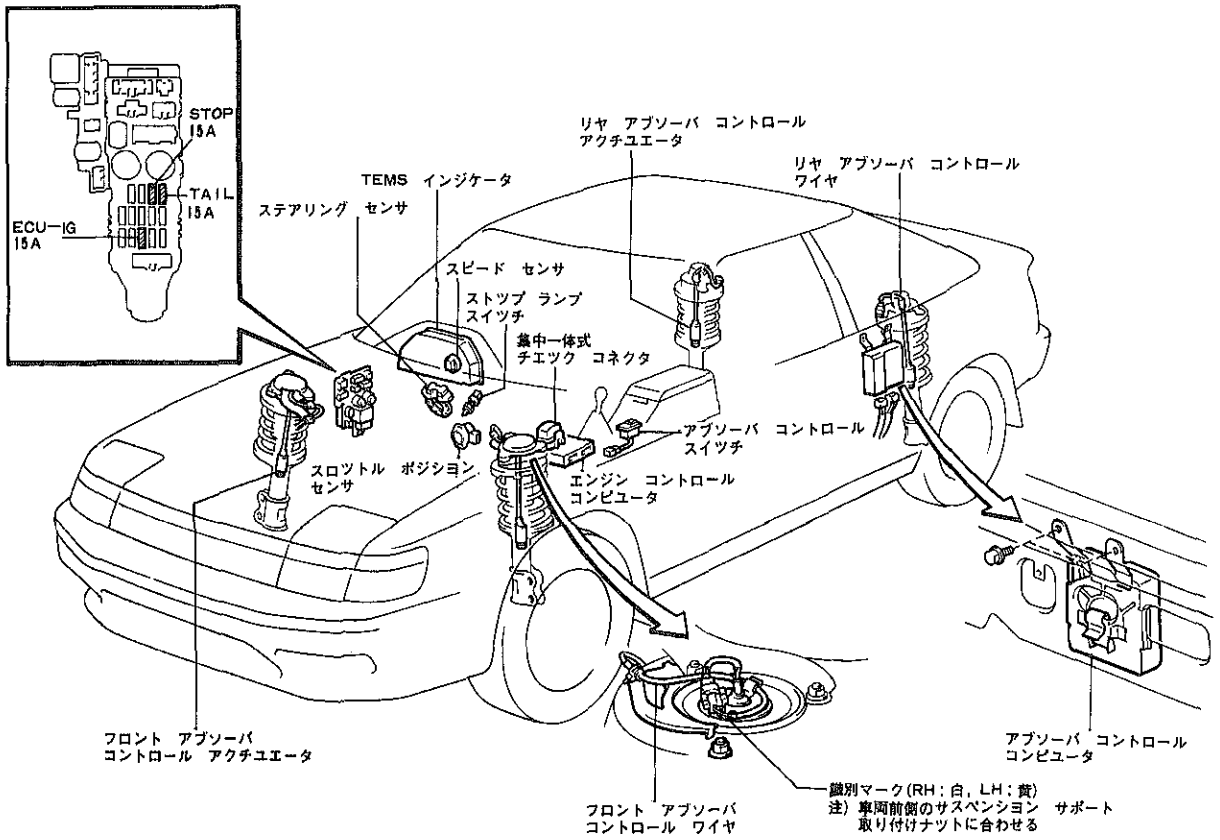
無断複製禁止

TEMS

準 備 品

計 器		09082-00012 テスタ トヨタ エレクトリカル	各部点検用
		09083-00060 ミニ テスト リード	コンピュータ点検用

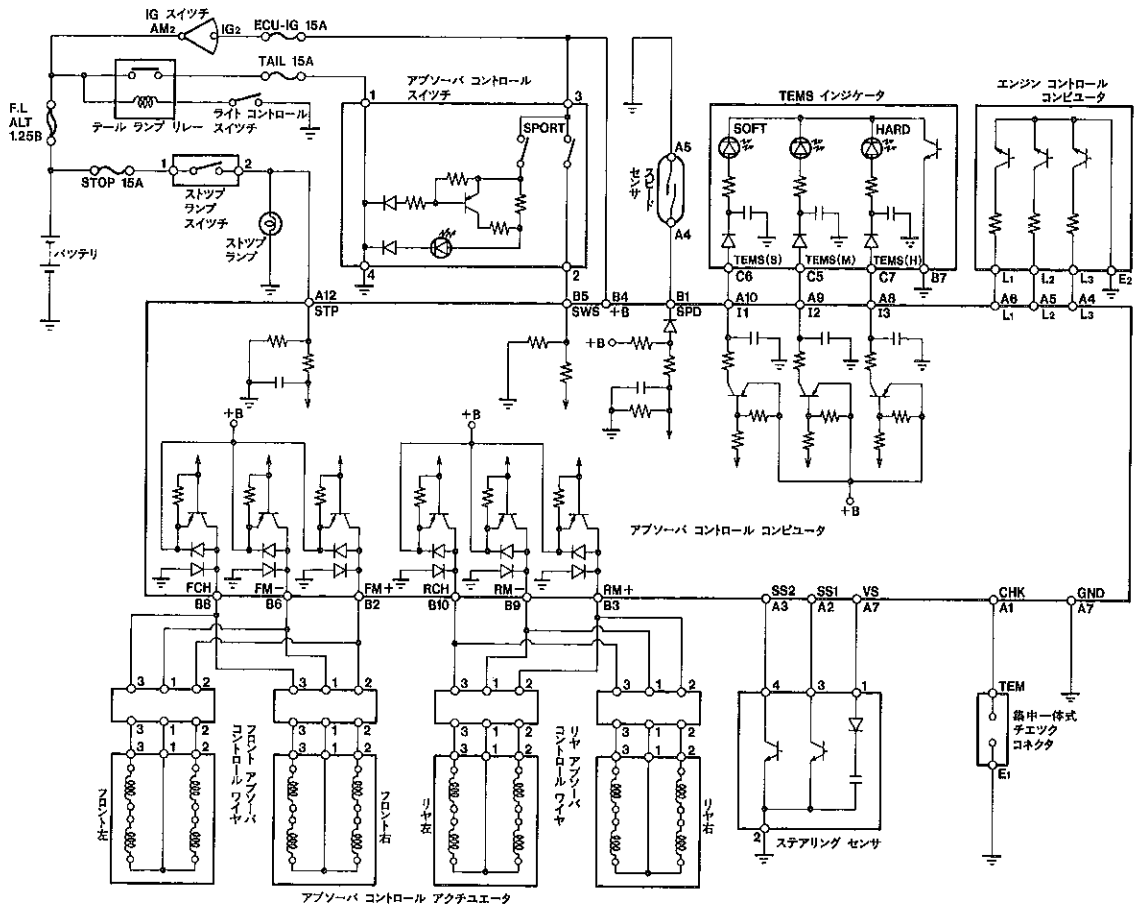
部品配置図



K2486

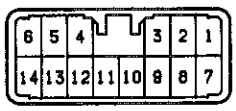
無断複製禁止

回 路 図



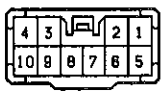
アブソーバ コントロール コンピュータ

コネクタ A



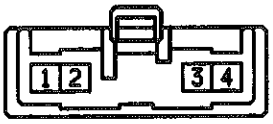
S－14－2 B

コネクタ B



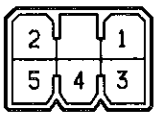
S－10－2

ステアリング センサ



U－4－1

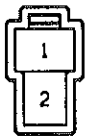
アブソーバ コントロール スイッチ



G－5－2

ストップ ランプ スイッチ

A／Dなし



H－2－2

A／D付き



SH－4－1

アブソーバ コントロール アクチユエータ



1Y－3－1

フロント アブソーバ コントロール ワイヤ

車両側



1S－3－2－A

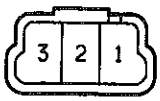
アブソーバ側



1Y－3－2

リヤ アブソーバ コントロール ワイヤ

車両側



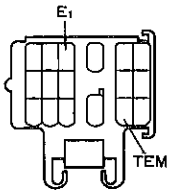
GA－3－2

アブソーバ側



1Y－3－2

集中一体式チエツク コネクタ



SH－18－1

コンビネーション メータ

コネクタ A



コネクタ B

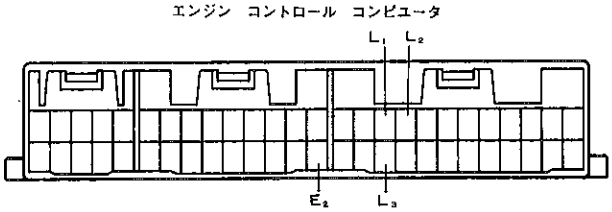


コネクタ C



K2457

エンジン コントロール コンピュータ



R－52－2

K2437

無断複製禁止

機能点検

減衰力制御状態表示点検

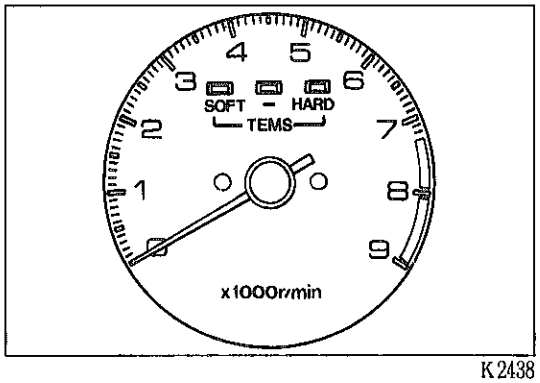
1 TEMS インジケータ点検

(1) イグニッション スイッチ ON後，約2秒間TEMS インジケータがすべて点灯することを確認する。

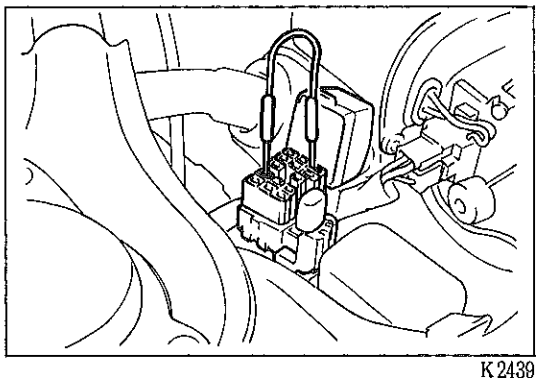
(2) アブソーバ コントロール スイッチを各モードに切り替えたとき下表のようにTEMS インジケータが点灯することを点検する。

基 準

アブソーバ コントロール スイッチ	TEMS インジケータ		
	SOFT	中 間	HARD
NORMAL	点 灯	消 灯	消 灯
SPORT	点 灯	点 灯	消 灯



K2438


K2439

2 減衰力点検

(1) イグニッション スイッチをONにする。

(2) 車両の各コーナーを上下に大きくゆすりながら，アブソーバ コントロール スイッチを切り替え減衰力に変化のあることを点検する。

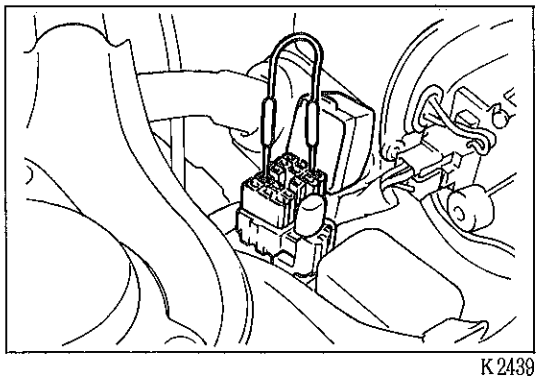
(3) アブソーバ コントロール スイッチをSPORTにする。

(4) 集中一体式チェック コネクタのTEM-E_1端子を短絡し，減衰力がハードになることを点検する。

基 準

アブソーバ コントロール スイッチ	TEM-E_1 短 絡	TEMS インジケータ			減衰力
		SOFT	中 間	HARD	
NORMAL	不 要	点 灯	消 灯	消 灯	ソフト
SPORT	不 要	点 灯	点 灯	消 灯	中 間 (スポーツ)
SPORT	要	点 灯	点 灯	点 灯	ハード

(5) 集中一体式チェック コネクタ TEM-E_1端子を解放する。


K2439

制御機能点検

1 スピード センサ機能点検

(1) 前輪をスピードメータ テスタに乗せ，エンジンを停止する。

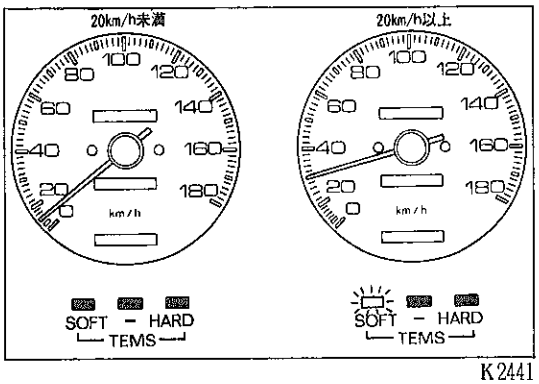
(2) 集中一体式チェック コネクタ TEM-E_1端子を短絡する。

(3) イグニッション スイッチをONにする。

(4) アブソーバ コントロール スイッチをSPORTにする。

基 準 TEMS インジケータがすべて点灯する

無断複製禁止



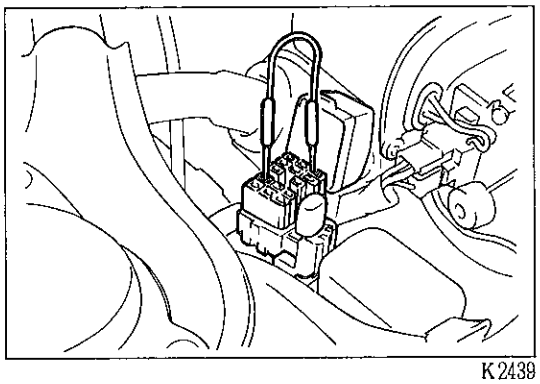
K2441

(5) エンジンを始動し，車速20km／h以上にして，TEMS　インジケータの点灯状態を点検する。

基　準

車　速	アブソーバ コントロール スイッチ	TEMS　インジケータ		
		SOFT	中　間	HARD
20km／h未満	SPORT	点　灯	点　灯	点　灯
20km／h以上		点　滅	点　灯	点　灯

(6) 集中一体式チエツク　コネクタ　TEM-E$_1$端子を解放する。


K2439

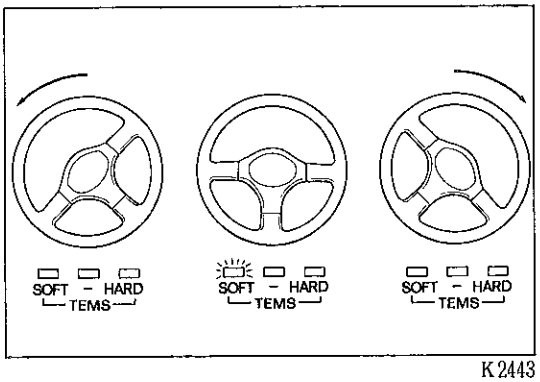
2　アンチロール点検（ステアリング　センサ機能点検）

(1) ホイールを直進状態にする。

(2) 集中一体式チエツク　コネクタ　TEM-E$_1$端子を短絡する。

(3) イグニツシヨン　スイツチをONにする。

(4) アブソーバ　コントロール　スイツチをNORMALにする。



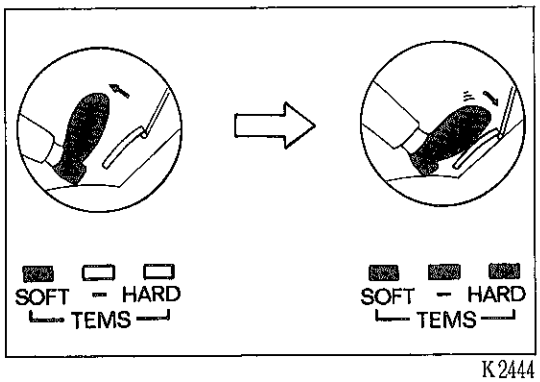
K2443

(5) ステアリング　ホイールを直進状態から左および右に45° 以上回転させ，TEMS　インジケータの点灯状態を点検する。

基　準

ステアリング　ホイールの状態	アブソーバ コントロール スイツチ	TEMS　インジケータ		
		SOFT	中　間	HARD
直進状態	NORMAL	点　滅	消　灯	消　灯
左右45° 以上回転		消　灯	消　灯	消　灯

(6) 集中一体式チエツク　コネクタ　TEM-E$_1$端子を解放する。



K2444

3　アンチスクオウト点検

(1) イグニツシヨン　スイツチをONにする。

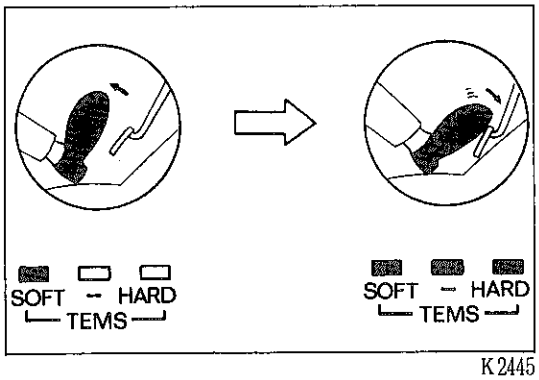
〈参考〉　アブソーバ　コントロール　スイツチはNORMAL，SPORTどちらでも良い。

(2) アクセル　ペダルを離した状態からいつぱいまですばやく踏む。

基　準　TEMS　インジケータがすべて点灯する

(3) インジケータがすべて点灯したら，直ちにペダルを離す。

基　準　約2秒後にインジケータが元の状態に戻る



K2445

4　アンチダイブ点検

(1) 前輪をスピードメータ　テスタに乗せる。

(2) エンジンを始動する。

〈参考〉　アブソーバ　コントロール　スイツチはNORMAL，SPORTどちらでもよい。

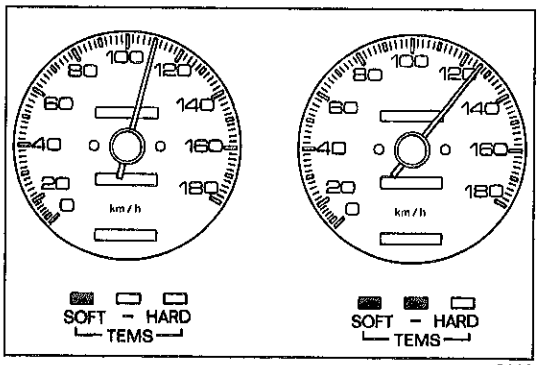
(3) 車速を60km／h以上にしてブレーキ　ペダルを踏む。

基　準　TEMS　インジケータがすべて点灯する

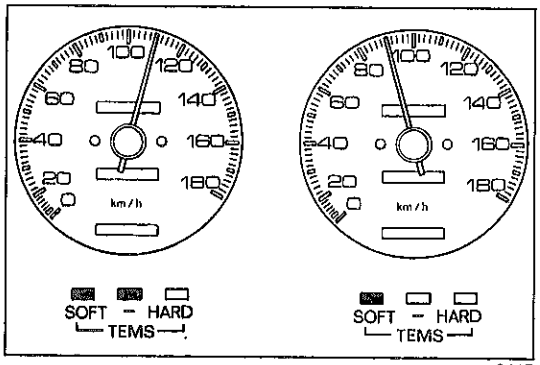
(4) インジケータがすべて点灯したら，直ちにペダルを離す。

基　準　約2秒後にインジケータが元の状態に戻る

無断複製禁止



K2446



K2447

5 高速感応点検

(1) 前輪をスピードメータ テスタに乗せる。

(2) エンジンを始動し，アブソーバ コントロール スイッチをNORMALにする。

(3) 車速が 120km／h以上の場合と，車速 120km／h以上から 100km／h未満に減速した場合のTEMS インジケータの点灯を点検する。

基 準

車 速（km／h）	アブソーバ コントロール スイッチ	TEMS インジケータ		
		SOFT	中 間	HARD
0～119（加速）	NORMAL	点 灯	消 灯	消 灯
120以上（加速）		点 灯	点 灯	消 灯
120以上～100（減速）		点 灯	点 灯	消 灯
100未満（減速）		点 灯	消 灯	消 灯

注意 減速時ブレーキ ペダルは踏まない。

無断複製禁止

トラブル　シユーテイング

トラブル　シユーテイングの進め方

1　バツテリ電圧点検

基準値　10～14V（エンジン停止時）

注意　バツテリ電圧が低いと誤診断のおそれがある。

2　フエイル　セーフ機能

(1) アクチユエータの短絡検出時は，ＴＥＭＳ　インジケータ　ランプ（ＳＯＦＴ）を30秒間点滅させた後すべて消灯し，その時点でアクチユエータの駆動をイグニツシヨン　スイツチ　ＯＦＦまで停止する。

(2) アブソーバ　コントロール　コンピユータの信号で，アクチユエータがなんらかの要因により駆動されない場合，一定時間経過後（約３～５秒）ＴＥＭＳ　インジケータ　ランプをすべて消灯し，アクチユエータの駆動をイグニツシヨン　スイツチ　ＯＦＦまで停止する。

(3) 異常が解消すれば，イグニツシヨン　スイツチをＯＦＦにして再度ＯＮにすると正常機能に復帰する。

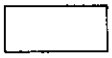
3　機能点検

(1) 機能点検を行い，不具合現象を確認する。（P4-14参照）

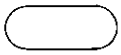
(2) (1)の結果をもとに，チヤート指示に従つて点検する。

4　フロー　チヤートの見方

……作業する項目

……点検する項目

- 条件の記入のない項目はイグニツシヨン　スイツチＯＮで行う。
- コンピユータなどの端子記号は回路図による。

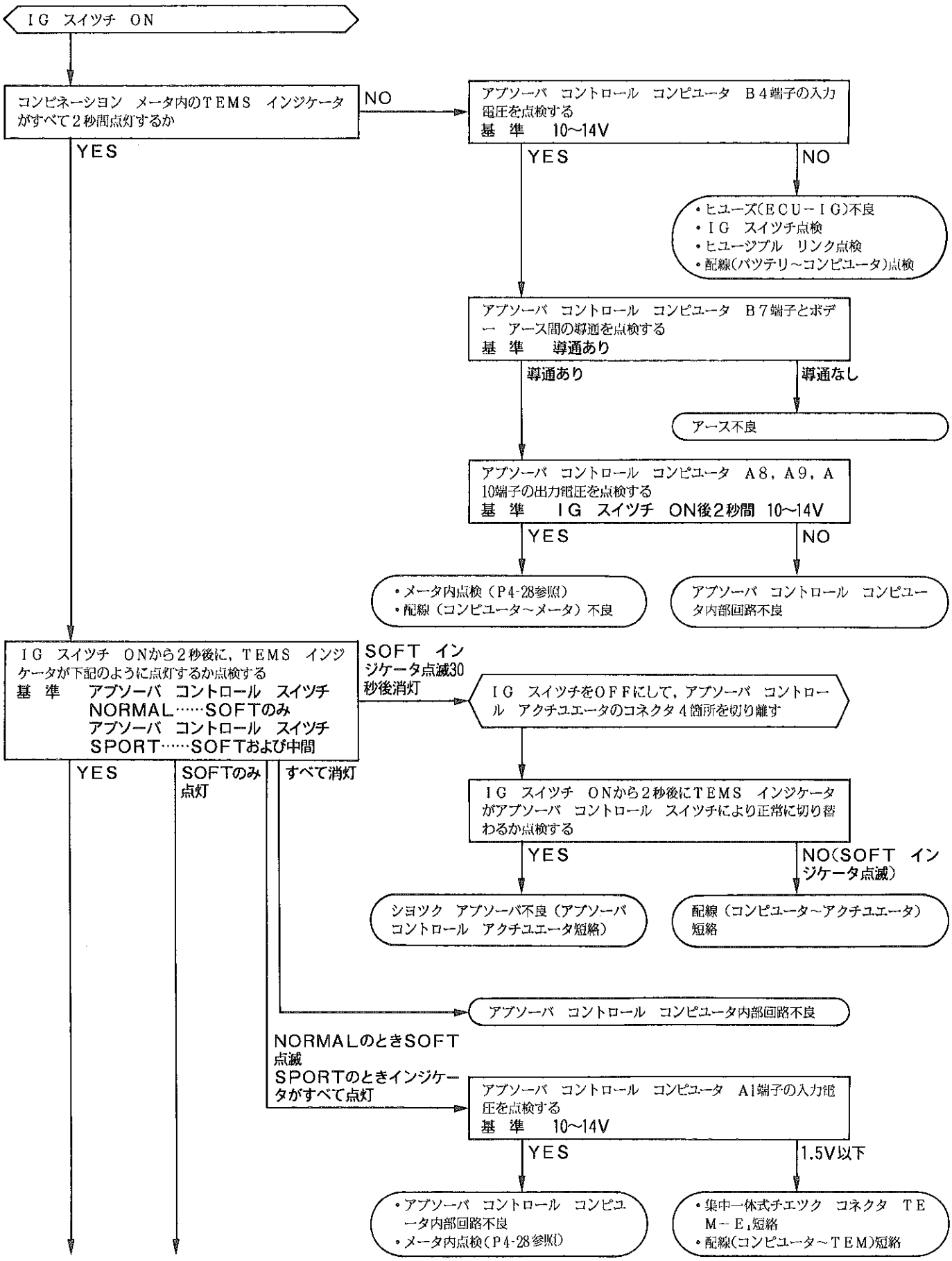
……不具合要因

- ワイヤ　ハーネス系も含む。

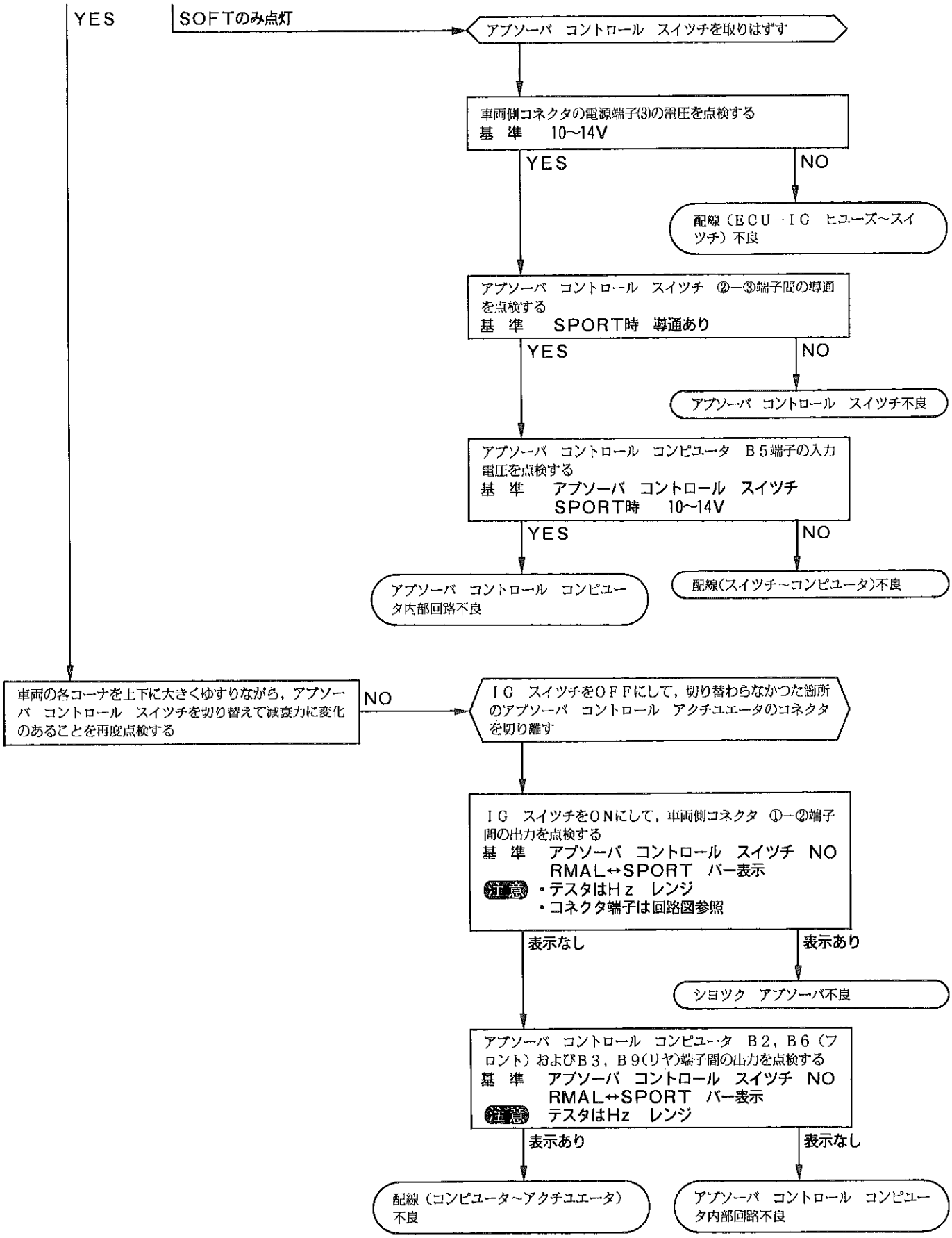
トラブル現象	チヤートNo.	ページ
モード切り替え機能が働かない	0	4－18
アンチスクオウト機能が働かない	0．1	4－20
アンチダイブ機能が働かない	0．2	4－22
アンチロール機能が働かない	0．3	4－24
高速感応機能が働かない	0．4	4－26

無断複製禁止

O モード切り替え機能が働かない（手動でNORMAL，SPORTに切り替わらない）

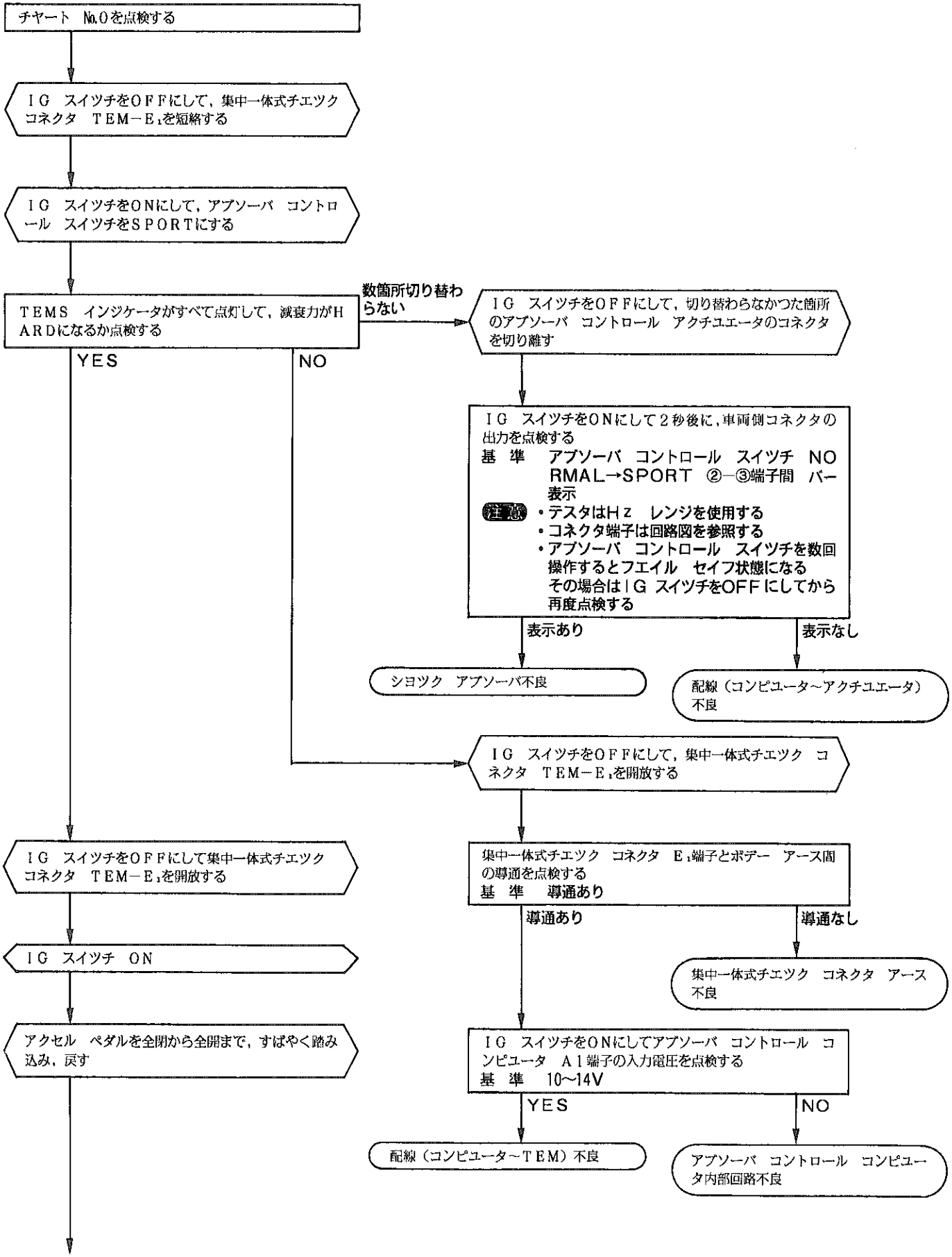


無断複製禁止

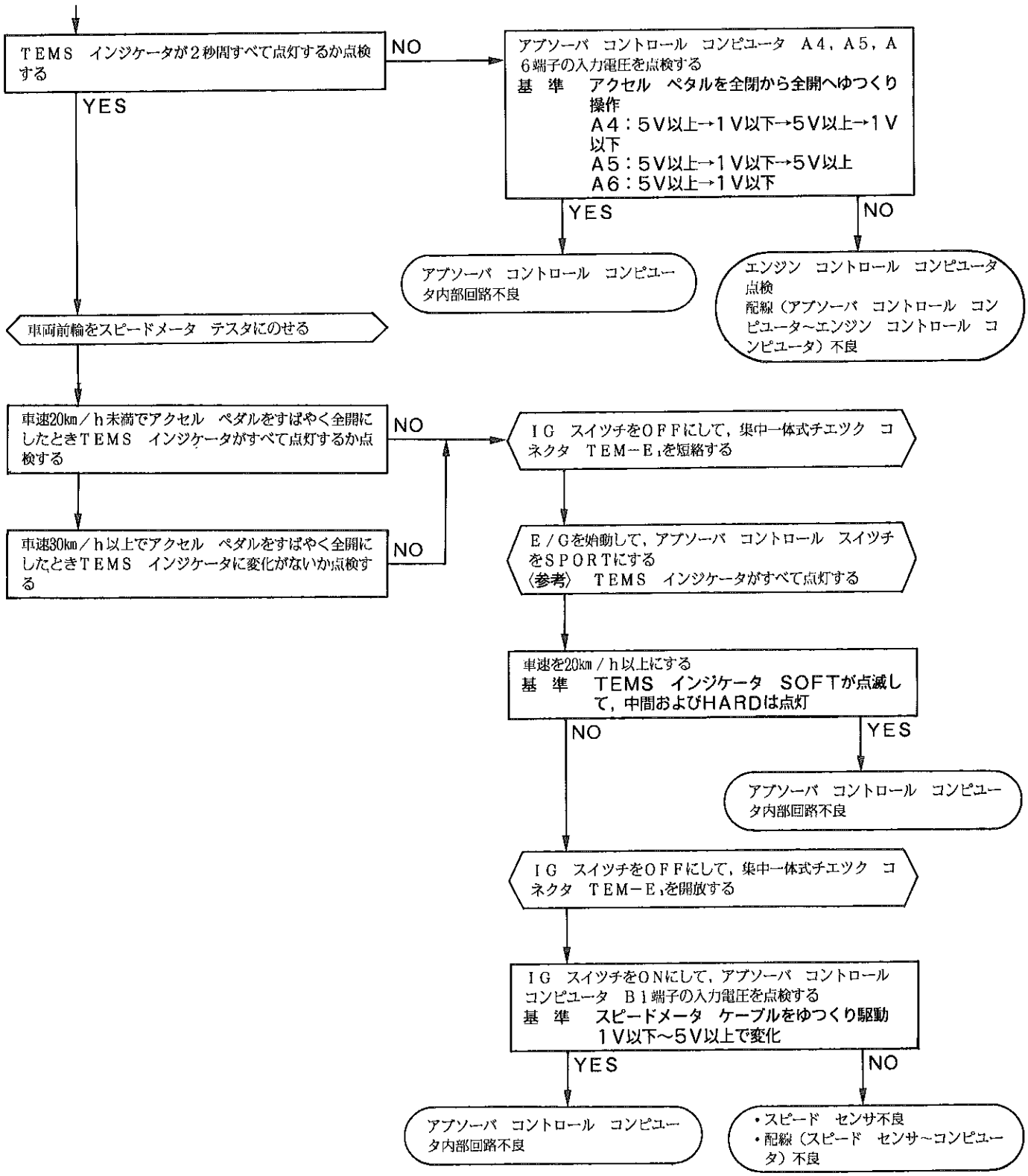

YES
SOFTのみ点灯
アブソーバ コントロール スイツチを取りはずす
車両側コネクタの電源端子(3)の電圧を点検する
基 準 10〜14V
YES
NO
配線（ECU−IG ヒューズ〜スイツチ）不良
アブソーバ コントロール スイツチ ②−③端子間の導通を点検する
基 準 SPORT時 導通あり
YES
NO
アブソーバ コントロール スイツチ不良
アブソーバ コントロール コンピュータ B5端子の入力電圧を点検する
基 準 アブソーバ コントロール スイツチ SPORT時 10〜14V
YES
NO
アブソーバ コントロール コンピュータ内部回路不良
配線(スイツチ〜コンピュータ)不良
車両の各コーナを上下に大きくゆすりながら，アブソーバ コントロール スイツチを切り替えて減衰力に変化のあることを再度点検する
NO
IG スイツチをOFFにして，切り替わらなかつた箇所のアブソーバ コントロール アクチユエータのコネクタを切り離す
IG スイツチをONにして，車両側コネクタ ①−②端子間の出力を点検する
基 準 アブソーバ コントロール スイツチ NORMAL↔SPORT バー表示
注意 ・テスタはHz レンジ
・コネクタ端子は回路図参照
表示なし
表示あり
ショツク アブソーバ不良
アブソーバ コントロール コンピュータ B2，B6（フロント）およびB3，B9(リヤ)端子間の出力を点検する
基 準 アブソーバ コントロール スイツチ NORMAL↔SPORT バー表示
注意 テスタはHz レンジ
表示あり
表示なし
配線（コンピュータ〜アクチユエータ）不良
アブソーバ コントロール コンピュータ内部回路不良

無断複製禁止

1 アンチスクオウト機能が働かない

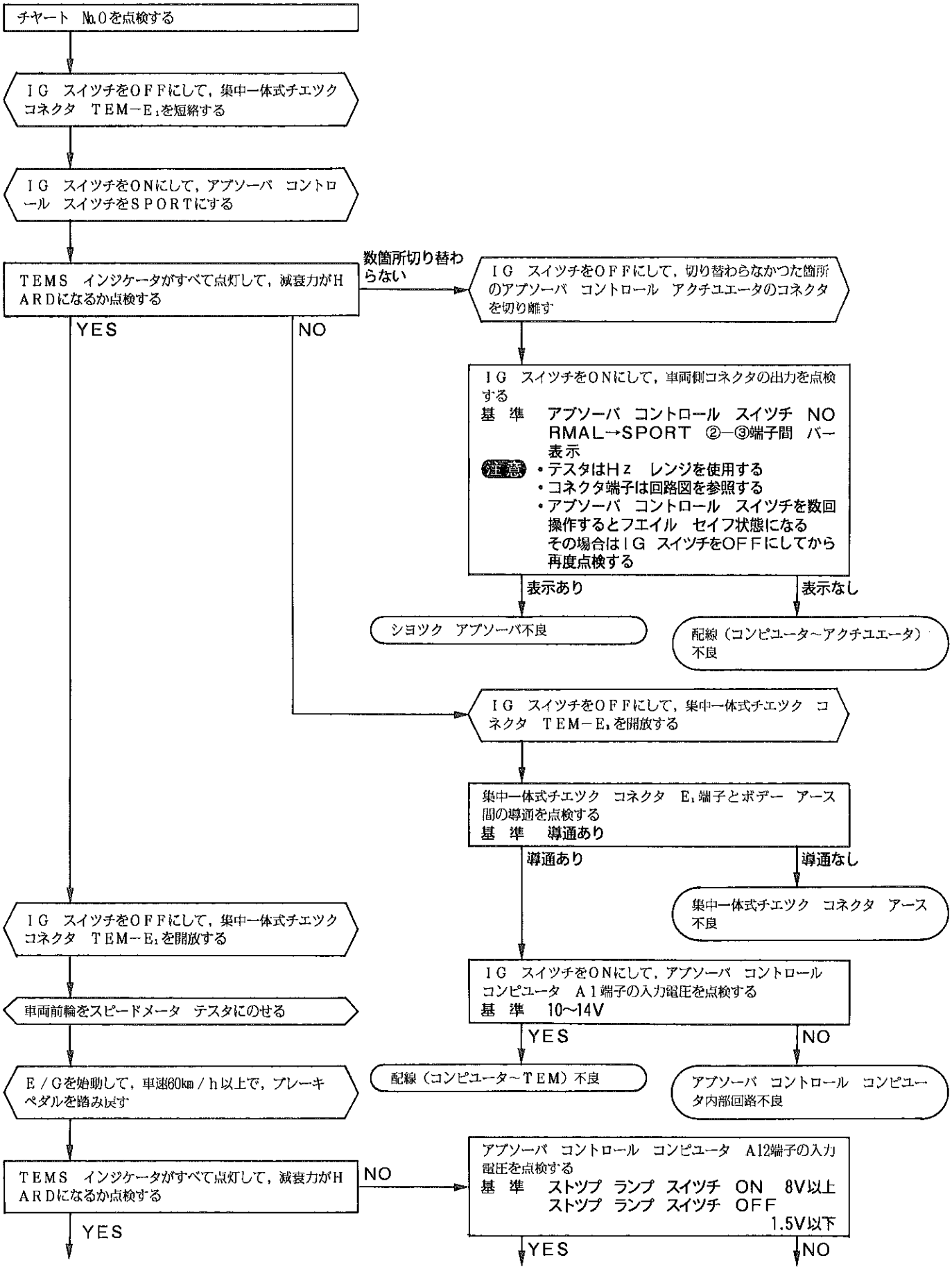


無断複製禁止

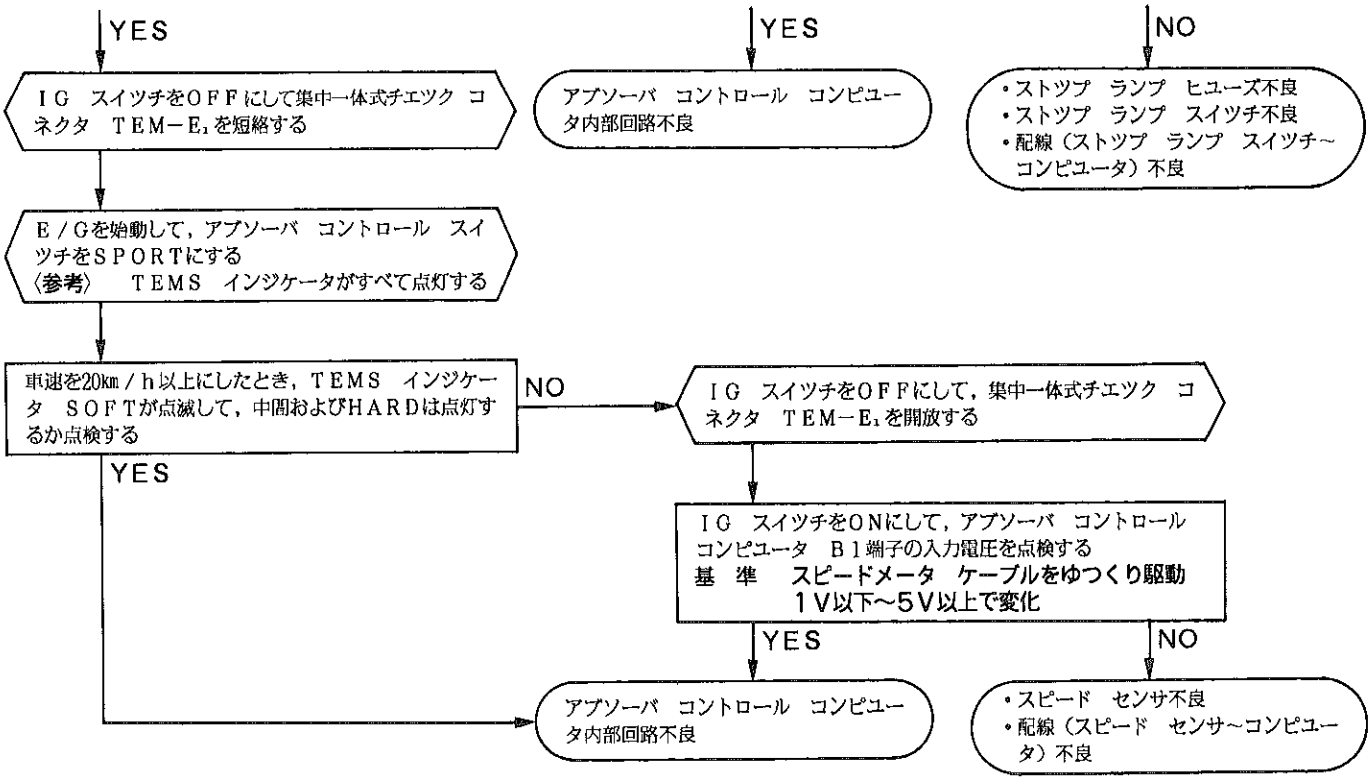

TEMS　インジケータが2秒間すべて点灯するか点検する
NO
アブソーバ　コントロール　コンピュータ　A4，A5，A6端子の入力電圧を点検する
基　準　アクセル　ペダルを全閉から全開へゆつくり操作
A4：5V以上→1V以下→5V以上→1V以下
A5：5V以上→1V以下→5V以上
A6：5V以上→1V以下
YES
NO
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
エンジン　コントロール　コンピュータ点検
配線（アブソーバ　コントロール　コンピュータ−エンジン　コントロール　コンピュータ）不良
YES
車両前輪をスピードメータ　テスタにのせる
車速20km／h未満でアクセル　ペダルをすばやく全開にしたときTEMS　インジケータがすべて点灯するか点検する
NO
IG　スイツチをOFFにして，集中一体式チエツク　コネクタ　TEM−E1を短絡する
車速30km／h以上でアクセル　ペダルをすばやく全開にしたときTEMS　インジケータに変化がないか点検する
NO
E／Gを始動して，アブソーバ　コントロール　スイツチをSPORTにする
〈参考〉　TEMS　インジケータがすべて点灯する
車速を20km／h以上にする
基　準　TEMS　インジケータ　SOFTが点滅して，中間およびHARDは点灯
NO
YES
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
IG　スイツチをOFFにして，集中一体式チエツク　コネクタ　TEM−E1を開放する
IG　スイツチをONにして，アブソーバ　コントロール　コンピュータ　B1端子の入力電圧を点検する
基　準　スピードメータ　ケーブルをゆつくり駆動
1V以下〜5V以上で変化
YES
NO
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
・スピード　センサ不良
・配線（スピード　センサ−コンピュータ）不良

無断複製禁止

2 アンチダイブ機能が働かない

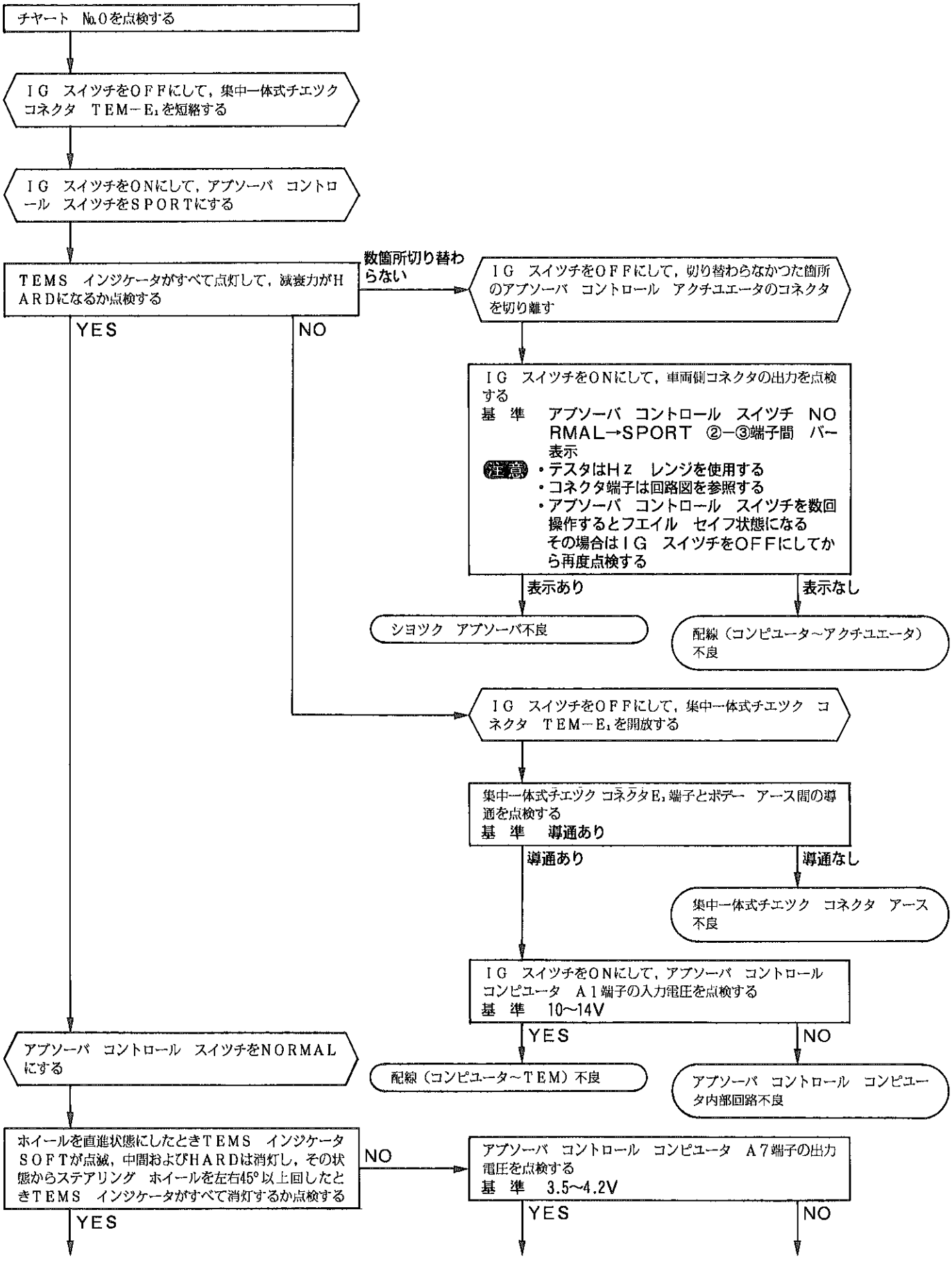


無断複製禁止

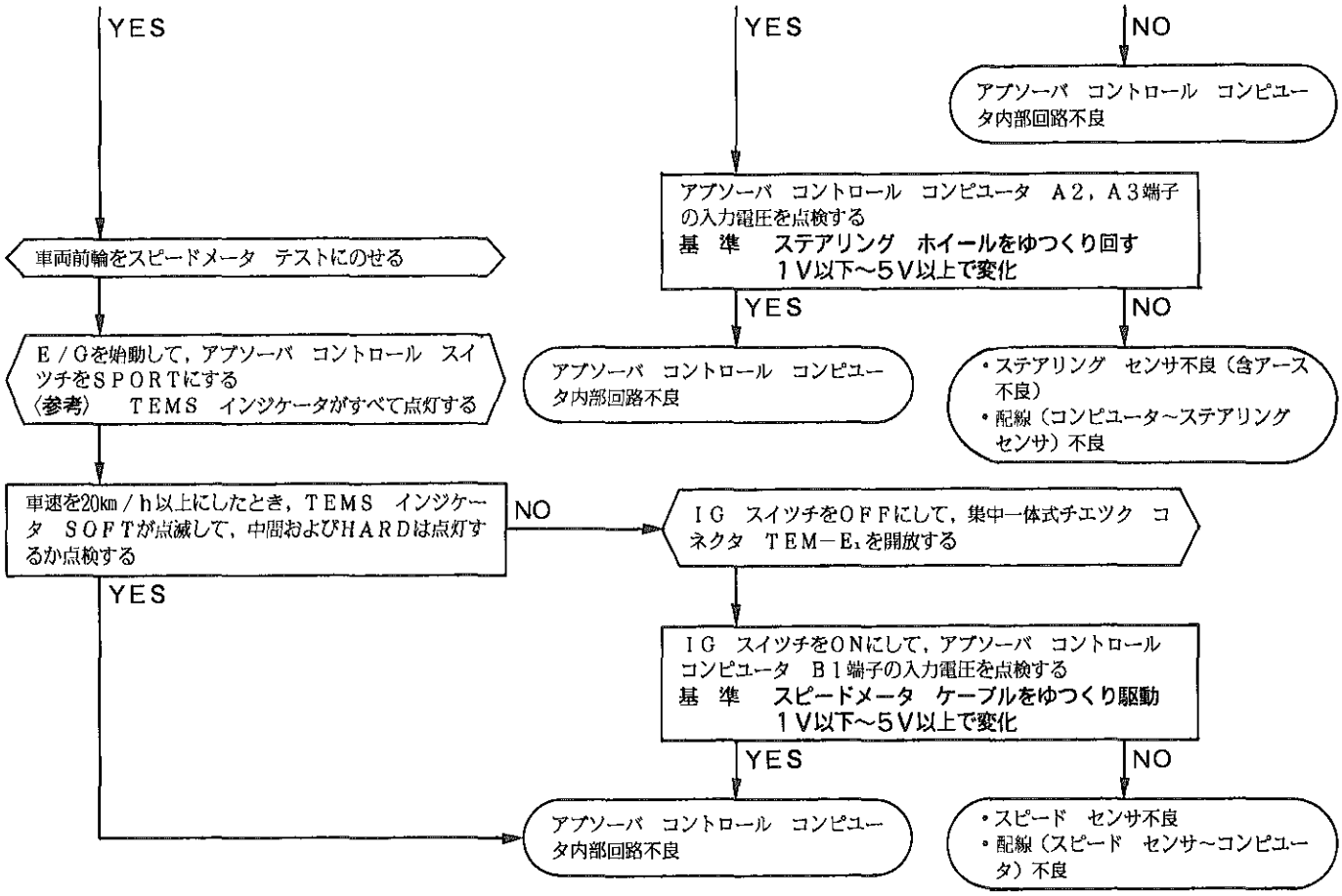

YES
ＩＧ　スイッチをＯＦＦにして集中一体式チェック　コネクタ　ＴＥＭ－E_1を短絡する
YES
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
NO
・ストップ　ランプ　ヒューズ不良
・ストップ　ランプ　スイッチ不良
・配線（ストップ　ランプ　スイッチ～コンピュータ）不良
Ｅ／Ｇを始動して，アブソーバ　コントロール　スイッチをＳＰＯＲＴにする
〈参考〉　ＴＥＭＳ　インジケータがすべて点灯する
車速を20km／ｈ以上にしたとき，ＴＥＭＳ　インジケータ　ＳＯＦＴが点滅して，中間およびＨＡＲＤは点灯するか点検する
NO
ＩＧ　スイッチをＯＦＦにして，集中一体式チェック　コネクタ　ＴＥＭ－E_1を開放する
YES
ＩＧ　スイッチをＯＮにして，アブソーバ　コントロール　コンピュータ　Ｂ１端子の入力電圧を点検する
基　準　スピードメータ　ケーブルをゆっくり駆動
１Ｖ以下～５Ｖ以上で変化
YES
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
NO
・スピード　センサ不良
・配線（スピード　センサ～コンピュータ）不良

無断複製禁止

3 アンチロール機能が働かない

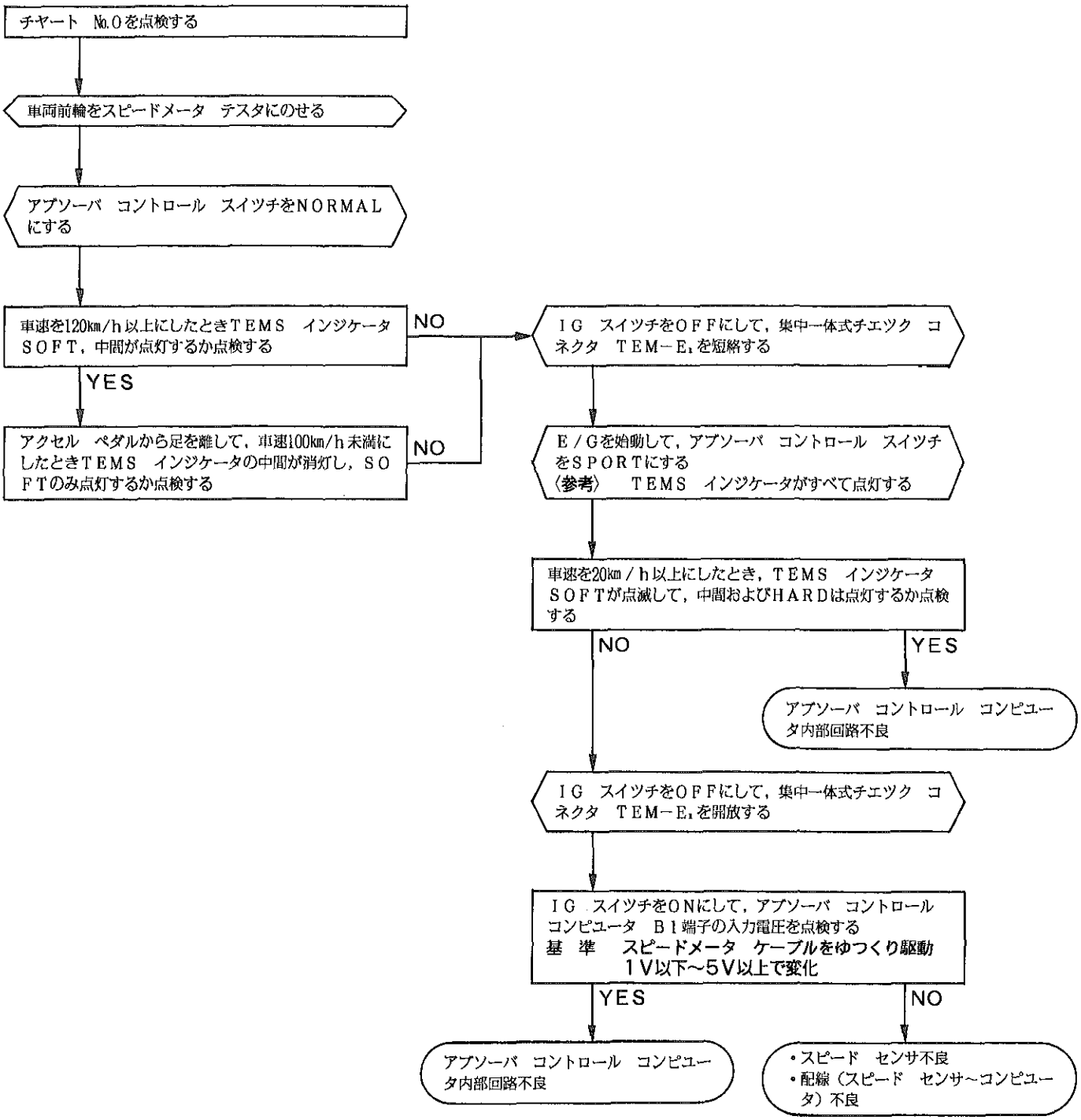


無断複製禁止

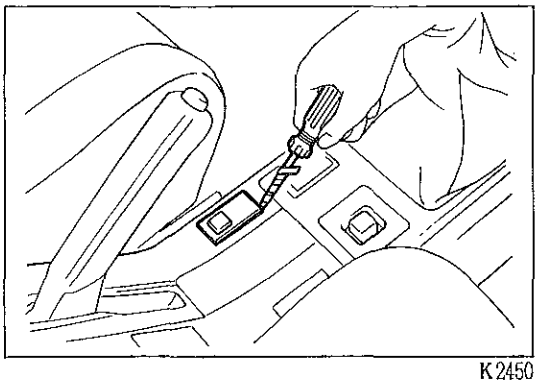

YES
車両前輪をスピードメータ　テストにのせる
E／Gを始動して，アブソーバ　コントロール　スイッチをSPORTにする
〈参考〉　TEMS　インジケータがすべて点灯する
車速を20km／h以上にしたとき，TEMS　インジケータ　SOFTが点滅して，中間およびHARDは点灯するか点検する
NO
IG　スイッチをOFFにして，集中一体式チエツク　コネクタ　TEM－E1を開放する
IG　スイッチをONにして，アブソーバ　コントロール　コンピュータ　B1端子の入力電圧を点検する
基　準　スピードメータ　ケーブルをゆつくり駆動
1V以下～5V以上で変化
YES
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
・スピード　センサ不良
・配線（スピード　センサ～コンピュータ）不良
YES
アブソーバ　コントロール　コンピュータ　A2，A3端子の入力電圧を点検する
基　準　ステアリング　ホイールをゆつくり回す
1V以下～5V以上で変化
YES
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良
NO
・ステアリング　センサ不良（含アース不良）
・配線（コンピュータ～ステアリング　センサ）不良
NO
アブソーバ　コントロール　コンピュータ内部回路不良

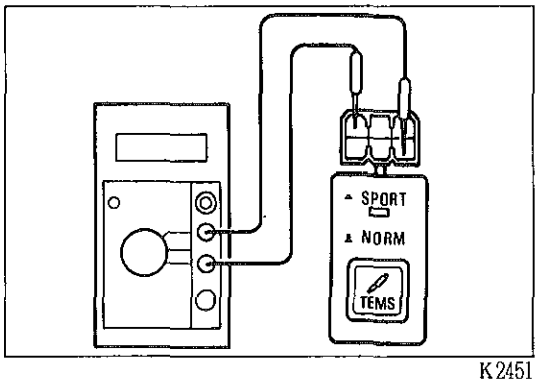
無断複製禁止

4 高速感応機能が働かない

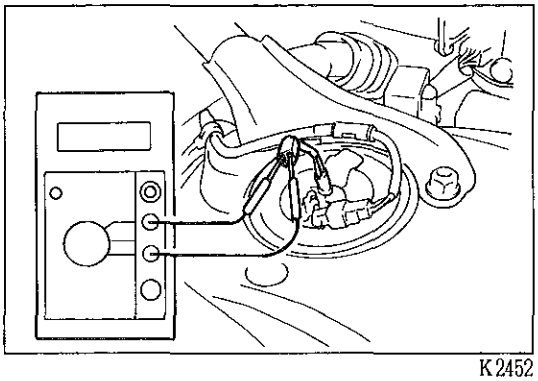


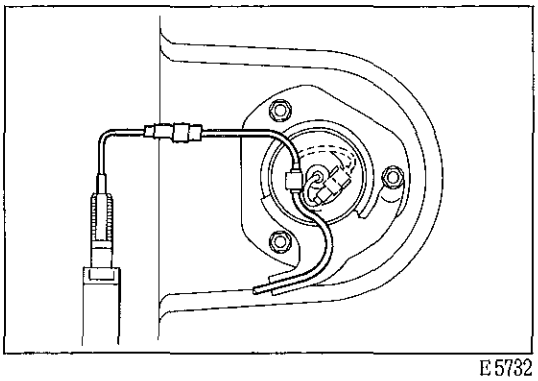
無断複製禁止

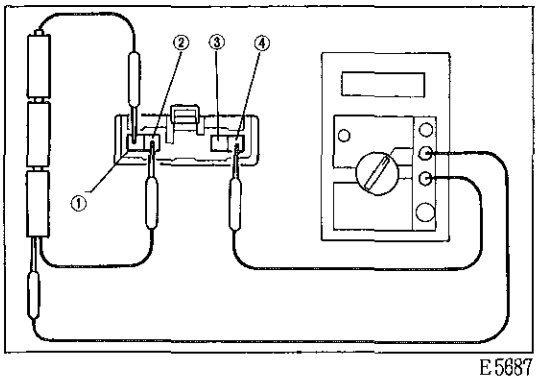

K2450



K2451


K2452


E5732



E5687

単体点検

1　アブソーバ　コントロール　スイツチ点検

(1) ⊖ドライバに保護テープを巻き，センタ　コンソールからアブソーバ　コントロール　スイツチを取りはずす。

(2) コネクタを切り離す。

(3) 各端子間の導通を点検する。

基　準

アブソーバ　コントロール　スイツチ	点　検　端　子
NORMAL	②－③端子間導通なし
SPORT	②－③端子間導通あり
照　明	①－④端子間導通あり

2　フロントおよびリヤ　アクチユエータ点検

(1) コネクタを切り離し，各端子間の導通を点検する。

基　準　①－②端子間導通あり

②－③端子間導通あり（①－②端子間と同抵抗値）

①－③端子間導通あり（①－②端子間の抵抗値の約2倍）

〈参考〉　機能点検（減衰力点検）で異常があり，(1)の点検が正常な場合または，シヨツク　アブソーバ　ＡＳＳＹ交換時の減衰力点検は下記の要領で行う。

(2) シヨツク　アブソーバを取りはずす。

(3) イグニツシヨン　スイツチをＯＮにする。

(4) 車両側コネクタとアブソーバ側コネクタを接続する。

注意　アブソーバをボデーに当てない。

(5) 機能点検（減衰力点検）と同じ方法でアブソーバの減衰力が３段階に切り替わるか点検する。（P4-14参照）

注意　アブソーバ　コネクタにバツテリ電圧を加えない。

3　ステアリング　センサ点検

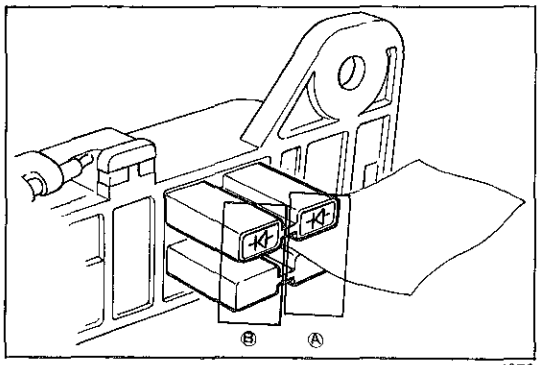
(1) ステアリング　センサを取りはずす。

(2) １本1.5Vの乾電池を３本直列に接続する。

注意　乾電池は単三乾電池を使用する。

(3) ①端子に電池の⊕，②端子に電池の⊖およびテスタを左図のように接続する。

無断複製禁止

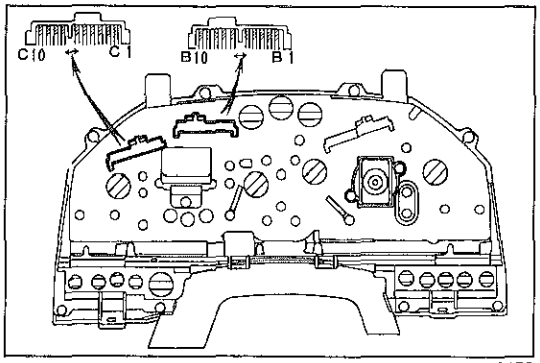


E5672

(4) 左図のⒶおよびⒷの部分に紙を入れたとき，③および④端子とアース間の導通を点検する。

基 準

遮光位置	③端子	④端子
ⒶおよびⒷとも開放	導通あり	導通あり
ⒶおよびⒷとも遮光	導通なし	導通なし
Ⓐのみ遮光	導通あり	導通なし
Ⓑのみ遮光	導通なし	導通あり



K2453

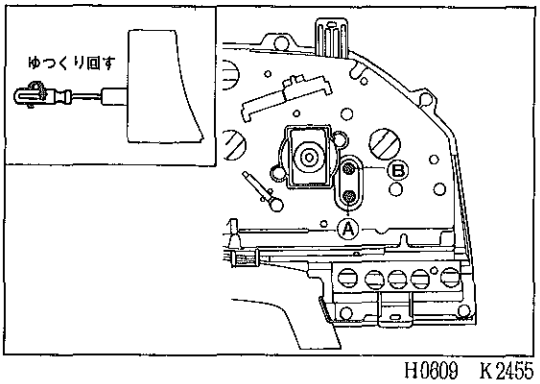
4 TEMS インジケータ点検

(1) メータ ASSYを取りはずす。

(2) コンビネーション メータ コネクタ端子間にバッテリ電圧を加えたとき，インジケータが点灯することを点検する。

基 準

バッテリ⊕を接続する端子	バッテリ⊖を接続する端子	点灯するインジケータ
C6	B7	SOFT
C5		中 間
C7		HARD



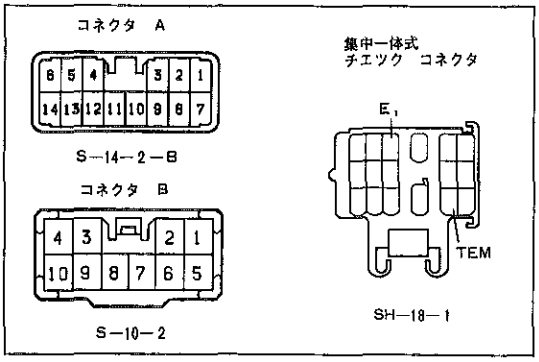
H0609 K2455

5 スピード センサ点検

(1) メータ ASSYを取りはずす。

(2) マグネット シャフトを回転させたときのA−B端子間の導通を点検する。

基 準 シャフトを1回転させる間に4回A↔B端子間が導通あり，なしを繰り返す



6 コンピュータ点検

(1) バッテリ電圧を点検する。

基準値 10~14V（エンジン停止時）

(2) テスタにミニ テスト リードを接続し，イグニッション スイッチONの状態で，各端子とボデー アース間の電圧および導通を点検する。

注意 コネクタをコンピュータに接続しておき，コネクタ裏側から点検する。

コネクタ	端子番号	端子記号	入出力	項目	測定条件	基準値（ ）内はHzレンジでのバー状態	基準値外の場合の不具合箇所
A	1	CHK	入力	DC	集中一体式チエック コネクタ TEM−E1短絡	1.5V以下	集中一体式チエック コネクタ
					集中一体式チエック コネクタ TEM−E1開放	10~14V	
	2	SS1	入力	DC	ステアリング ホイールをゆっくり回転	1V以下~5V以上変化	ステアリング センサ
	3	SS2					

無断複製禁止

コネクタ	端子番号	端子記号	入出力	項目	測定条件	基準値（ ）内はHzレンジでのバー状態	基準値外の場合の不具合箇所
A	4	L3	入力	DC	スロットルを全閉からゆつくり全開へ操作	5V以上→1V以下→5V以上→1V以下	スロットル センサまたはエンジン コントロール コンピュータ
	5	L2				5V以上→1V以下→5V以上	
	6	L1				5V以上→1V以下	
	7	VS	出力	DC	IG スイツチ ON	3.5~4.2V	アブソーバ コントロール コンピュータ
	8	I3	出力	DC	アブソーバ コントロール スイツチ SPORT 集中一体式チエツク コネクタ TEM－E,短絡	10~14V	アブソーバ コントロール コンピュータ
	9	I2	出力	DC	アブソーバ コントロール スイツチ SPORT	10~14V	
	10	I1	出力	DC	アブソーバ コントロール スイツチ NORMAL	10~14V	
	12	STP	入力	DC	ブレーキ ペダル踏時	8V以上	ストツプ ランプ スイツチ
					ブレーキ ペダル開放時	1.5V以下	
B	1	SPD	入力	DC	スピードメータ ケーブルをゆつくり駆動	1V以下~5V以上変化	スピード センサ
	2	FM＋	出力	Hz	アブソーバ コントロール スイツチ NORMAL→SPORT	（点灯）	アブソーバ コントロール コンピュータ
	3	RM＋					
	4	＋B	入力	DC	IG スイツチ ON	10~14V	電源
	5	SWS	入力	DC	アブソーバ コントロール スイツチ SPORT	8V以上	アブソーバ コントロール スイツチ
					アブソーバ コントロール スイツチ NORMAL	1.5V以下	
	6	FM－	出力	Hz	アブソーバ コントロール スイツチ SPORT→NORMAL	（点灯）	アブソーバ コントロール コンピュータ
	7	GND	入力	導通	IG スイツチ OFF常時	導通あり	ボデー アース
	8	FCH	出力	Hz	集中一体式チエツク コネクタ TEM－E,短絡 アブソーバ コントロール スイツチ SPORT→NORMAL	（点灯）	アブソーバ コントロール コンピュータ
	9	RM－	出力	Hz	アブソーバ コントロール スイツチ SPORT→NORMAL	（点灯）	アブソーバ コントロール コンピュータ
	10	RCH	出力	Hz	集中一体式チエツク コネクタ TEM－E,短絡 アブソーバ コントロール スイツチ SPORT→NORMAL	（点灯）	アブソーバ コントロール コンピュータ

無断複製禁止

MEMO

無断複製禁止